○第三十一回帝國議會衆議院議事速記錄第二十四號

大正三年三月十四日（土曜日）午後一時六分開議

議事日程　第二十三號　大正三年三月十四日
午後一時開議
第一　大正三年度歳入歳出總豫算案（貴族院回付）　第一讀會ノ續（委員長報告）
第二　耕地整理法中改正法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）
第三　地租條例中改正法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）
第四　治安警察法中改正法律案（關直彦君外三名提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）
第五　罹人恩給法中改正法律案（森炭生君提出）　第一讀會
第六　軍人恩給法改正ニ關スル建議案（村松恒一郎君外二名提出）
第七　農業會議所設置ニ關スル建議案（武藤金吉君提出）
第八　鐵道建設ニ關スル建議案（中倉万次郎君外七名提出）
第九　東北六縣田畑公定地價特別修正輕減ニ關スル建議案（日下義雄君外十五名提出）
第十　高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案（根本正君外一名提出）
第十一　對支「シンヂケート」設置ニ關スル建議案（小山谷藏君提出）
第十二　北海道拓殖促進ニ關スル建議案（東武君外八名提出）
第十三　三國港護岸施工ニ關スル建議案（熊谷弘右衛門君外二名提出）
第十四　阿賀野川及小阿賀野川改修工事速成ニ關スル建議案（加藤勝彌君外四名提出）
第十五　千曲川治水計畫ニ關スル建議案（小坂順造君外一名提出）
第十六　直江津開港ニ關スル建議案（丸山豐治郎君外三名提出）
第十七　武豐開港ノ修築ニ關スル建議案（滝水市太郎君外二名提出）
第十八　支那ニ於ケル同仁會事業ニ關スル建議案（丸尾光春君外四名提出）
第十九　災害地義務教育費國庫補助ニ關スル建議案（關直彦君外五名提出）　（委員長報告）
第二十　蠶業講習所ヲ高等專門學校ニ改ムルノ建議案（小西和君外二名提出）　（委員長報告）
第二十一　上越鐵道建設ニ關スル建議案（高津仲次郎君外七名提出）　（委員長報告）
第二十二　羽越沿岸鐵道建設ニ關スル建議案（佐藤信古君外十一名提出）　（委員長報告）
第二十三　輸出入種苗及飲食物檢査ニ關スル建議案（小西和君提出）　（委員長報告）
第二十四　清酒防腐劑「サリチール」酸使用延期ニ關スル建議案（武藤金吉君外四名提出）　（委員長報告）
第二十五　（特別報告第九號）福山今市間輕便鐵道敷設ノ請願　（委員長報告）
第二十六　（特別報告第一〇號）安來母里間輕便鐵道速成ノ請願　（委員長報告）
第二十七　（特別報告第一一號）大湊鐵道速成ノ請願　（委員長報告）
第二十八　（特別報告第一二號）山陰線速成ノ請願　（委員長報告）
第二十九　（特別報告第一三號）大分竹田線敷設速成ノ請願　（委員長報告）
第三十　（特別報告第一五號）湖西輕便鐵道敷設ノ請願　（委員長報告）
第三十一　（特別報告第一六號）舞鶴ヨリ城崎ヘ通スル鐵道敷設ノ請願　（委員長報告）
第三十二　（特別報告第一九號）四國幹線鐵道速成ノ請願外十六件　（委員長報告）
第三十三　（特別報告第二六號）賣藥稅法改正ノ請願　（委員長報告）
第三十四　（特別報告第二七號）煙草專賣法中改正ノ請願　（委員長報告）
第三十五　（特別報告第二八號）地方稅トシテノ度量衡營業稅廢止ノ請願　（委員長報告）
第三十六　（特別報告第二九號）砂糖關稅及消費稅輕減ノ請願　（委員長報告）
第三十七　（特別報告第一七號）御嵩區裁判所出張所設置ノ請願　（委員長報告）
第三十八　（特別報告第一八號）河内村停車場設置ノ請願　（委員長報告）
第三十九　（特別報告第三二號）乳製品保護ノ請願　（委員長報告）
第四十　（特別報告第三四號）狩獵法中甲種免狀期間延長ノ請願　（委員長報告）
第四十一　（特別報告第三六號）森林法中追加又ハ單行法制定ノ請願　（委員長報告）
第四十二　（特別報告第三七號）國有林野ヲ町村基本財產トシテ無償交付ノ請願外七件　（委員長報告）
第四十三　（特別報告第七四號）國有林野ヲ町村基本財產トシテ無償交付ノ請願外一件　（委員長報告）

第四十四願（特別報告第二八號）國有林障碍木伐採ノ請願（委員長報告）
第四十五願（特別報告第二九號）發明事業ノ奬勵及補助金支出ノ請願（委員長報告）
第四十六（特別報告第五七號）城原郵便局復活ノ請願（委員長報告）
第四十七（特別報告第五八號）海底電信敷設ノ請願（委員長報告）
第四十八（特別報告第五九號）小樽區ニ貯金支局設置ノ請願外百八件（委員長報告）
第四十九（特別報告第七九號）爲替貯金支局設置ノ請願（委員長報告）
第五十（特別報告第八三號）小樽區ニ貯金支局新設ノ請願（委員長報告）
第五十一（特別報告第七七號）稗田ニ郵便局設置ノ請願（委員長報告）
第五十二（特別報告第七八號）鳥飼ニ郵便局設置ノ請願（委員長報告）
第五十三（特別報告第八〇號）郵便線路改正竝三等郵便局設置ノ請願（委員長報告）
第五十四（特別報告第八一號）無集配厚南郵便局ヲ集配郵便局ニ變更ノ請願（委員長報告）
第五十五（特別報告第八二號）南御牧局ニ集配及電信事務開始ノ請願（委員長報告）

○議長（長谷場純孝君）是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス（書記朗讀）

一貴族院ヨリ回付ヲ受ケタル政府提出案左ノ如シ

大正三年度歲入歲出總豫算案

一貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

大正三年度各特別會計歲入歲出豫算案

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

埼玉縣下比企郡川島領六ケ村田畑地價特別修正ニ關スル建議案
提出者　粕谷義三君　加藤政之助君　大島寛爾君
福田又一君　齋藤安雄君　綾部惣兵衞君
齋藤珪次君　指田義雄君

一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

對米問題ニ關スル追加質問（牧野外務大臣）
帝國在鄉軍人會ニ關スル質問（楠瀨陸軍大臣）
自治權蹂躙ニ關スル再質問（原內務大臣）
模範的示威運動禁止ニ關スル質問（原內務大臣）
海軍現役ニ關スル質問（齋藤海軍大臣）
鐵道事故竝監督ニ關スル第三質問（山本內閣總理大臣）

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

學制ニ關スル質問
提出者　林毅陸君

（左ノ答辯書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）

大正三年三月十三日　內閣總理大臣伯爵山本權兵衞

衆議院議長長谷場純孝殿

衆議院議員石橋爲之助君提出對米問題ニ關スル追加質問ニ對シ別紙答辯書差進候

（別紙）

衆議院議員石橋爲之助君提出對米問題ニ關スル追加質問ニ對スル答辯

七、八政府ハ本件ニ關シ未タ的確ナル答辯ヲナスノ時期ニ達セサルヲ遺憾トナスモ本訴訟ハ其ノ後米國官憲ノ取下クル所トナレリ

右及答辯候也

大正三年三月十三日　外務大臣男爵牧野伸顯

大正三年三月十三日　內閣總理大臣伯爵山本權兵衞

衆議院議長長谷場純孝殿

衆議院議員相島勘次郎君提出帝國在鄉軍人會ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

（別紙）

衆議院議員相島勘次郎君提出帝國在鄉軍人會ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一　陸軍大臣ハ帝國在鄉軍人會ノ內部ノ事柄ニ付テハ別ニ支障ナキ限リ深ク之ニ干涉セス

二　帝國在鄉軍人會長ハ同會カ團體トシテ選擧ニ關係スヘカラサルコトニ付テハ嚴ニ戒飭シアリト雖會員個人カ國民トシテ選擧權ヲ行使スルニハ何等干涉スル如キ訓令ヲ發シタルコトナシ

右及答辯候也

大正三年三月十三日　陸軍大臣楠瀨幸彥

大正三年三月十三日　內閣總理大臣伯爵山本權兵衞

衆議院議長長谷場純孝殿

衆議院議員早速整爾君提出自治權蹂躙ニ關スル再質問追加ニ對スル答辯書差進候

（別紙）

衆議院議員早速整爾君提出自治權蹂躙ニ關スル再質問追加ニ對スル答辯書

大正二年五月十二日ノ廣島市會ハ議員定數ノ半數以上ノ出席議員ヲ以テ開會シ其ノ會議中退席者アリテ定足數ヲ缺クニ至リ而カモ議長ハ更ニ催告ヲ爲ササリシヲ以テ前答辯書第一項ニ述ヘタル如ク該選擧ハ之ヲ適法ナルモノト認ムルコトヲ得サルナリ

右及答辯候也

大正三年三月十三日　內務大臣原敬

大正三年三月十三日　内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

衆議院議長長谷場純孝殿

衆議院議員黒須龍太郎君提出模範的示威運動禁止ニ關スル質問ニ對シ別紙内務大臣答辯書差進候

（別紙）

衆議院議員黒須龍太郎君提出模範的示威運動禁止ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一　安寧秩序ヲ保持スルノ必要ニ因リ當該行政官廳ニ於テ示威運動ヲ禁止シタルハ事實ナリ

二　示威運動ノ禁止ハ安寧秩序ヲ保持スル爲必要ナル場合ニ限レルモノニシテ絶對ニ禁止スルノ方針ニアラス

右及答辯候也

大正三年三月十三日　内務大臣原敬

大正三年三月十三日　内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

衆議院議長長谷場純孝殿

衆議院議員八田裕二郎君提出海軍現役ニ關スル質問ニ對シ別紙海軍大臣答辯書差進候

（別紙）

衆議院議員八田裕二郎君提出海軍現役ニ關スル質問ニ對スル答辯書

山本海軍大將ハ海軍大臣ノ内奏ニ依リ特ニ現役ニ列セラレタルモノニシテ之ヲ先例ニ徴スルモ海軍服役令ニ牴觸スルモノニアラス

右及答辯候也

大正三年三月十三日　海軍大臣男爵齋藤實

大正三年三月十三日　内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

衆議院議長長谷場純孝殿

衆議院議員野村嘉六君提出鐵道事故竝監督ニ關スル第二質問ニ對シ別紙答辯書差進候

（別紙）

衆議院議員野村嘉六君提出鐵道事故竝監督ニ關スル第二質問ニ對スル答辯書

本件質問ノ要旨ハ第一回及第二回ノ質問ト全然同一ニシテ之ニ對スル政府ノ所見ハ前二回ノ答辯ニ悉クセルヲ以テ右答辯ニ依リ了承アランコトヲ望ム

（左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）

一昨十三日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

裁判所構成法中改正法律案外一件

松田源治君　岡田榮君　熊谷直太君
島田俊雄君　竹松君　麓純義君
工藤吉次君　安村直次君　指田義雄君
福岡世德君　黒須龍太郎君
秋田清君　本田恆之君
山谷虎三君　花井卓藏君
區裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案
阿部德三郎君　吉田定之助君
平田禎君　關信之介君
村松龜一郎君　土方千種君
不動產登記法中改正法律案
三谷軌秀君　宮古啓二郎君
吉原祐太郎君　串本康三君
矢島浦太郎君　柴田源左衞門君
陸軍治罪法中改正法律案外一件
戸水寬人君　長島鷲太郎君
木津太郎平君　樋口與常君
望月圭介君　森川源吾君
田代進四郎君　野村嘉六君
神藤才一君　大原義剛君
石田仁太郎君　花井卓藏君
薄荷營業取締法案
松田吉三郎君　福井三郎君
瀨戸山清彦君　大島寬爾君
川合直次君　奥山寬平君
市制中改正法律案外一件
石黒磐君　小出五郎君
小坂順造君　井上篤太郎君
山田珠一君　大口喜六君
陸軍幼年學校廢止ニ關スル建議案
石黒磐君　吉原正隆君
鈴木巖君　高嶺朝敬君
矢島八郎君　柏原文太郎君
大嶺線延長工事速成ニ關スル建議案
小林源藏君　渡邊祐策君
森田俊左久君　小出五郎君
小河源一君　的野半介君
名古屋富山間鐵道建設ニ關スル建議案外二件
三輪市太郎君　佐々木文一君
工藤善太郎君　内山吉太君
森丘覺平君　大口喜六君
置賜輕便鐵道建設ニ關スル建議案外二件
長谷晴登君　田中隆三君
笠原忠造君　友常穀二郎君
町田忠治君　伊東知也君
開拓促進竝農牧奬勵ニ關スル建議案
吉植庄一郎君　中倉万次郎君
高島茂平君　植場平君
武内作平君　木下成太郎君
野添宗三君　五郎君
高野金重君　久保通猷君
佐藤信古君　永見寬二君
鈴木萬次郎君　水野正已君
平出喜三郎君　有田溫三君
樋口喜輔君　澤來太郎君
横田孝史君　中安信三郎君
加瀨禧逸君　林毅陸君
井上敏夫君　濱本義顯君
光森治君　五郎君
德由庸君　久保通猷君
則元津君　武部其文君
末良介君　鈴置倉次郎君
濱田國松君　田中清文君
加瀨禧逸君　堀切善兵衞君
竹村欽次郎君　東恆松君
才賀藤吉君　武隆慶君

大久保弁太郎君　藏内治郎作君　根岸崎太郎君
松浦五兵衛君　木村良君　川上淳一郎君
杉山東太郎君　水野正己君　伊藤英一君
青地雄太郎君　岡部次郎君　小山谷藏君

蠶業革新政策ニ關スル建議案

武藤金吉君　井上篤太郎君　小山完吾君
西谷金藏君　松本宗吾君　須藤嘉吉君
福田善三郎君　小西和君　阿由葉鎗三郎君

警視廳廢止ニ關スル建議案

横田千之助君　林永太君　清水市太郎君
手塚正次君　相川久太郎君　小寺謙吉君
藏原惟郭君　村松恆一郎君　小山谷藏君

滿洲戰蹟保存會ノ事業ニ關スル建議案

福岡精一君　井深彦三郎君　白川友一君
一坂俊太郎君　丸尾光春君　早川龍介君
中野貫一君　的野半介君　岡部次郎君

官幣大社熱田神宮禮遇復興ニ關スル建議案外一件

清崟太郎君　石黒磐君　稻茂登三郎君
森茂生君　早川六三郎君　早川龍介君
三浦逸平君　有森新吉君　尾崎元次郎君

港務局設置ニ關スル建議案

井上敏夫君　帆足隼太郎君　津島源右衛門君
安村竹松君　丸山豐治郎君　鵜澤宇八君
眞舘貞造君　守屋此助君　松本恆之助君

航空事業國庫補助ニ關スル建議案

米田穰君　岩田大中君　森田俊左久君
小山田信藏君　肥後靜雄君　岡崎久次郎君
大森與三次君　相島勘次郎君　橋本太吉君

水產教育及其ノ試驗ニ關スル建議案

三浦覺一君　岸本賀昌君　根本正君
松城兵作君　小川藏次郎君　目黒孝平君
神藤才一君　小西和君　有田溫三君

治水事業費增加及其ノ竣功期限短縮ニ關スル建議案外三件

齋藤珪次君　菅原傳君　清崟太郎君
岩本平藏君　伊藤祐一君　堀切善兵衛君
佐野喜平太君　漆昌巖君　川眞田德三郎君
有馬秀雄君　川合直次君　町田忠治君
加藤政之助君　福田又一君　高木正年君
石田仁太郎君　安田伊左衛門君　高橋義信君

瓦斯事業取締法制定ニ關スル建議案

若尾幾造君　石川甚作君　高橋直治君
水間此農夫君　小坂順造君　鈴木寅彥君
武内作平君　高木益太郎君　才賀藤吉君

移民奬勵ニ關スル建議案

日向輝武君　西風重遠君　金子圭介君
增田穰三君　山本七朗君　渡邊國重君

原脩次郎君　西村丹治郎君　森田小六郎君

鳴門架橋及潮流利用發電調査ニ關スル建議案

板東勘五郎君　高鍋篤郎君　三輪市太郎君
白石直治君　藏内治郎作君　秋田清君
大森與三次君　小西和君　中川虎之助君

委員異動　今十三日奈古浦丸ノ所有者救恤ニ關スル法律案委員阿部德三郎君辭任ニ付其補闕トシテ笠原忠造君ヲ、運河法中改正法律案委員井坂光暉君辭任ニ付其補闕トシテ齋藤珪次君ヲ、議院法中改正法律案委員田邊熊一君辭任ニ付其補闕トシテ丸山豐治郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

（左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス）

模範的示威運動禁止ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正三年三月六日

提出者　黒須龍太郎　贊成者　岩崎安次郎　外八十九人

模範的示威運動禁止ニ關スル質問主意書

一　目下國民ノ日夜痛心シ居ル時局問題ニ關シ全國新聞記者有志聯合會主催トナリ責任ヲ以テ模範的大示威運動ヲ開催セムトシ同會實行委員松井廣吉、山川瑞三兩氏ヨリ警視廳ニ交渉セシニ警視廳ハ之ヲ禁止スヘシト言明セル爲尙衆議院議員ヲモ發起人ニ加ヘ十分ノ責任ヲ帶ヒ擧行セムコトヲ申出テタルモ上官ニ於テ既ニ禁止ノ方針ニ確定シ居レハ斷シテ之ヲ禁止スヘシト言明セル由ナルカ事實果シテ如何若事實トセハ詳細ニ其ノ理由ヲ說明セムコトヲ望ム

二　時事問題ニ對スル國民ノ示威運動ハ各國憲政治下普通行ルル必要事ニシテ我カ國亦之カ先例ヲ有スルニ拘ラス政府ハ時局問題ニ對シ絕對ニ國民ノ示威運動ヲ禁止スルノ方針ヲ有スルヤ否若然リトセハ詳細ニ其ノ理由ヲ說明セムコトヲ望ム

右及質問候也

海軍現役ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正三年三月七日

提出者　八田裕二郎　贊成者　岩下清周　外三十一人

海軍現役ニ關スル質問主意書

一　海軍服役令第二條ニハ「現役トハ武官ヲ以テ充ツヘキ軍務ニ服スルヲ謂フ」トアリ此ノ條ニシテ改正セラレサル以上ハ何等ノ方法ヲ以テスルモ文官タル總理大臣ノ職ニ就ケル山本大將ハ之ヲ海軍現役ニ列セシムル能ハサルカ如シ然ルニ山本大將ノ總理トナルヤ特ニ現役ニ列セラレタリ本條ト牴觸スル所ナキカ政府ノ所見如何

二　右ニ對スル奏請ノ責任ハ何人之ヲ負擔スルヤ

右及質問候也

本質問ハ演說致ササルニ付文書ヲ以テ速ニ答辯相成度候

○議長（長谷場純孝君）　是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一　大正三年度歲入歲出總豫算案貴族院回付ヲ議題ト致シマス――奧繁三郎君

第一　大正三年度歲入歲出總豫算案（貴族院回付）

（奥繁三郎君登壇）

（拍手起ル）

○奥繁三郎君　諸君、大正四年度ノ豫算案ニ對シテ貴族院ハ（「四年デスカ」ト呼フ者アリ）大正三年度ノ豫算ニ對シテ貴族院ハ修正ヲシテ本院ニ送付サレマシタガ、遺憾ナガラ本員ハ之ニ同意スルコトハ出來マセヌ、其結果トシテ兩院協議會ヲ開カレルコトヲ望ミマス、尚附加ヘテ申シマスルガ、兩院協議會ハ本院ヨリ十名ノ委員ヲ設ケラレンコトヲ望ミマス、是ダケヲ申上ゲマス（「贊成」ト呼フ者アリ拍手起ル）

○議長（長谷場純孝君）　武富時敏君

（武富時敏君登壇）

（拍手起ル）

○武富時敏君　私ハ貴族院ノ修正ニ同意スベシト云フ意見デアルノデアリマス、其所以ハ貴族院ノ修正ト吾々ガ此衆議院ニ於テ主張シタルトコロト、其程度ニ於テ多少異ナル所ハゴザイマスガ、畢竟餘程相近イ意見デゴザイマスカラ、是ニ同意ヲ表スルニ躊躇シナイノデアリマス、本院多數ノ議決ハ吾々ノ主張トハ全ク反對ニ出デテ居ル、反對ニ出テハ居リマスガ、院議トナッタ以上ハ勿論少數ノ側ニアル吾々モ是ニ服從スルトコロノ責任ハ免レナイ、併ナガラ此院議ヲ改正スルノ機會ニ達シサヘスレバ、吾々ト吾々ノ主張ヲ提ゲテ此院議ヲ改正スルニ何ノ躊躇スルトコロハナイノデアル、但シ此貴族院ノ修正ハ豫算ニ向ッテ削減ヲ加ヘタノデゴザイマスカラ、豫算ハ衆議院ニ憲法上先議權ヲ與ヘラレテ居ル、其先議權ノ精神ヲ擴充シテ、貴族院ハ容易ニ豫算ニ向ッテ喙ヲ容レナイト云フ慣例ヲ作リタイト云フノガ吾々ノ理想ニ違ヒナイ、併ナガラ又レハ衆議院ガ自身ノ決議ヲ重ンズルニアラズシテ、貴族院ヲシテ此衆議院ノ決議ヲ重ンゼシムルニ過ギナイノデアリマス、サスレバ此吾々ノ理想トスル慣例ヲ作ルニハ、衆議院ガ濫リニ其決議ヲ固執シテ得ラルベキモノデハナイ（「ノウ〳〵」ト呼フ者アリ）此理想ニ達スルニハ別ニ憲法上ノ定ムル所ニ依ルノデアル（拍手起ル）況ヤ又衆議院ノ修正ナルモノハ其形コソ豫算問題トシテ現ハレテ居リマスガ、實質ハ豫算問題ニアラズシテ內閣ノ不信任問題デアル、貴族院ガ海軍充實費ヲ削除シタル所以ハ、海軍充實費ノ過大ナルガ爲メニ削除シタルニアラズシテ、海軍當局ノ不信任ガ其理由デアル、斯ノ如キ不信任ノ海軍當局者ニ向ッテ、斯ノ如キ海軍充實ノ計畫ヲ任スコトハ出來ナイト云フノガ貴族院ノ理由デアル、隨テ豫算ノ削除即チ豫算問題トシテ形ハ現ハレテ居リマスガ、其實質ニ於テハ海軍當局ノ不信任、延イテ山本內閣全體ノ不信任問題トシテ茲ニ現ハレテ居ルノデアル、サスレバ吾々ガ既ニ屢、此議院ニ於テ主張シ、今後モ尚ホ飽マデモヲ主張セントスル其主義ト、毫モ貴族院ノ決議ハ異ナル所ハナイノデアリマス、然ラバ何ゾ此豫算問題トシテ現ハレタル此形ニ拘泥シテ、此貴族院ノ決議ニ同意ヲ躊躇スル理由ハ更ニ無イト、吾々ハ信ズルノデアリマスカラ、吾々ハ此貴族院ノ修正ニ向ッテ同意ヲ表スル所以デアリマス

○議長（長谷場純孝君）　犬養毅君

（犬養毅君登壇）

○犬養毅君　私モ協議會ヲ開クベシト云フニ贊成ノ一人デアリマス、貴族院ノ七千万圓減額ト云フ問題ハ、實ニ私共即チ國民黨ノ出シタ案ト全ク同ジコトデアル、ソコデ同ジ志會諸君カラ出サレタノハ全部削除、政友會ノモ遠イノデアル、中正會ノモ遠イノデアル、ソコデ同ジコトヽ言ヘバ國民黨ノ出シタ七千万圓減ガ偶然ニモ貴族院ノ諸公ノ說ニ暗合致シタ、ソレ故ニ此點カラ言ヘバ吾々ハ贊成スベキデアル、贊成スルト云フ意味ハ同志會諸君ヨリハモウ少シ强イ意味デ贊成ガ出來ルカモ知レヌ、併ナガラソレ以上ノモノガアル、吾々ハ尙ニ此豫算先議權ト云フダケデ貴族院ニ修正ヲ許サヌト云フノデハナイノデアリマス、併ナガラ第一議會以來ノ好慣例ハ如何ニナッテ居ルカト云ヘバ、多ク大キナ問題デハ是マデ修正致サレナイ、中ニハ小サイモノデ其修正ニ付テ協議會ヲ開イタコトモ屢、アリマスガ、斯樣ナ大キナ問題デ貴族院ガ修正サレタト云フコトハナイノデアリマス、ソレ故ニ此一點ニ付テハ貴族院ノ好慣例、即チ衆議院ニ對シテ德義上此先議權ノ勢力ヲドコマデモ尊重サレルト云フコトヲ、吾々ハ餘程是マデ感謝致シテ居ッタノデアリマス、ソレ故ニ此好慣例ハ成ベク破ラナイ、他カラ破ラレテモ衆議院ハ成ベク之ヲ守ルト云フ方カラ、餘義ナク私共ハ說ハ同ジコトデアル、減額ノ說ハ同ジコトデアルガ、此大問題ニハ代ヘラレマセヌカラ、涙ヲ飮デ是ニ反對スルノデアリマス、唯今武富君ガ申サレル不信任ノ意味、此不信任ト云フコトニ付テハ私ハ一種ノ說ヲ持テ居リマスガ、此處デ言フ必要ハアリマセヌ、ソコデ貴族院ガ如何ナル意味ヲ持テ來ラレヤウガ、衆議院ガ受取テ居ルノハ七千万圓ト云フ單純ナ豫算ノ削減デアル、建議ナリ上奏ナリハ兩院關聯シナイモノデアル、一院毎ニ出シ得ルモノデアルカラ、不信任ノ意味ヲ持タウガ、彈劾ノ意味ヲ持タウガ、衆議院ニ參ルトキニハ單純ナ豫算デアル（「ヒヤ〳〵」）精神ヲ知ラズ」ト呼フ者アリ）衆議院ガ若シ不信任ヲヤルト云フナラバ、豫算ノ蔭ニ隱レズトモ衆議院ハ彈劾ノ決議モ出サレル、彈劾ノ上奏モナシ得ルノデアル他ノ形ニ隱レテ衆議院ガナスト云フヤウナコトヲセズトモ、整々堂々ト御互ニ出來ルデハアリマセヌカ、ソレ故ニ吾々ハ他ノ一院ノ力ヲ藉リテ政府ノ彈劾ヲ爲スモノデナイ（「ノウ〳〵」「ヒヤ〳〵」「實際藉リルデハナイカ」ト呼ヒ拍手起ル）一院デヤリ得ルコトガ出來ルノデアル、ソレ故ニ私ハ第一議會以來ノ慣例ヲ保存スルト云フ上カラ、ドコマデモ此院議ヲ尊重スルト云フ上カラ、自分ノ說即チ七千万圓減ト云フ說ヲ涙ヲ飮ンデ捨テ、謹ンデ此院議ニ從ヒマス

○議長（長谷場純孝君）　發言ノ通告者ガ――今ノ說ニ反對ノ發言通告者ガアリマセヌカ、反對ノ演說ヲナサル人ハアリマスカ、無イト認メマスカラ尾崎行雄君

（尾崎行雄君登壇）

○尾崎行雄君　本員等モ亦前ノ院議ヲ尊重シテ貴族院ノ修正ニ反對ヲ表スルモノデアリマス（「ヒヤ〳〵」ト呼ヒ拍手起ル）而シテ本員等ノ――本員等ノ意見ハ……

○議長（長谷場純孝君）　成ベク靜カニ御議聽アランコトヲ望ミマス

○尾崎行雄君　本員等ノ意見ハ此院ニ於テ決セラレタル修正案ニハ、最モ緣ノ遠イモノデゴザイマス、卽チ海軍補充費ニ於テハ一億五千四百万圓全部ヲ削減スルノガ元來本員等ノ意見デアリマス、然ルニ當院ニ於テ決セラレタノハ僅ニ二千万圓ヲ削減シタニ過ギナイ、之ニ反シテ貴族院ハ七千万圓ヲ削減致シテ居ル、卽チ本員等元來ノ主張ト較ベマスレバ寧ロ貴族院ノ削減ガ近クシテ、衆議院ノ修正ガ遠イノデアリマス、併ナガラ既ニ當院ノ決議スル所トナッタ以上ハ、自說ニ遠イモ拘ラズ、吾々ハ立憲政治ノ根本義ノ爲メニ之ヲ贊成ヲ表スルモノデアリマス（拍手起ル）憲法上ニ於テ貴衆兩院ガ豫算上同等ノ權利ヲ有ッテ居ルヤ否ヤハ、今日ハ姑ク論ジマセヌ、唯既往二十二四箇年間ノ慣例決シテ短キ慣例トハ申シマセヌ、既往二十四箇年ニ近キ此長キ日月ノ間、幸ニシテ我貴族院ハ衆議院ノ決議ヲ常ニ尊重シテ、些細ナル二四回ノ取捨ヲ除イテハ豫算問題ニ付テハ常ニ貴族院ハ我衆議院ノ意見ヲ尊重シテ變易スル所ガ無カッタノデアリマス、此慣例ハ極メテ大切ナル慣例デアッテ、然モ國會開設以來今日ニ至マデ二十四箇年ノ日月ヲ以テ確定セラレタル慣例デアリマス（「ノウ〳〵」「ヒヤ〳〵」）ト呼フ者アリ）重ネテ申ス、二十四箇年ト云フハカ〳〵長キ月日デアルノミナラズ、我憲法實施セラレテ以來今日ニ至マデノ全部デアル、其全部ノ慣例ガ既ニ斯ノ如クナッテ居ルノデアリマス、故ニ吾々ハ此慣例ヲ尊重スルノ意味ニ於テ、我意見ト最モ遠キ所ノ衆議院ノ修正ニ贊成ヲ表シマス、卽チ政友會諸君ノ多數ニ依テ決定セラレタル意見ニ贊成ヲ表スル者デアリマス、唯此ニ至ッテ一言述ベテ置カナケレバナラヌノハ、貴族院ノ諸君ニ於テハ既往二十四箇年間豫算ニ付テハ我衆議院ノ意見ヲ敬重セラレタコト斯ノ如クデアル、然ルニ今日突然トシテ我衆議院ノ意見トハ頗ル遠キ所ノ修正ヲ加ヘラレタ、惟フ

ニ貴族院ノ諸公決シテ輕々シク之ヲ爲シタノデハナイ、無論好ンデ之ヲ爲サレタノデハナイ、之ヲ爲サザルヲ得ザルモノアルガ爲メニ爲シタコトデアル、其心ニ違ヒ、二十四箇年ノ慣例ニ反イテ衆議院ノ決議ニ違キ所ノ削減ヲ加ヘラレタノハ、實ニ萬已ムヲ得ザル事情アッタガ爲メデアラウト吾ミハ解釋スル、故ニ其點ニ付テハ敢テ貴族院諸公ノ爲ス所ヲ非ナリトハ申シマセヌ、唯斯ク長キ間常ニ我衆議院ノ決議ヲ尊重セラレタ所ノ貴族院諸公ヲシテ、止ムヲ得ズ此ニ至ラシメタル責任ハ何人ニ在ルカト云フコトヲ問ハナケレバナラヌ、此內閣——此山本總理ノ組織シテ居ル內閣ノ不都合ナル擧動、無謀ナル言行、政治及ヒ德義上ノ責任ヲ滅却シタル擧動ガ無カッタナラバ、貴族院ノ諸公決シテ斯ノ如キ事ハ爲サナカッタコトヲ本員ハ斷言シテ疑ハナイノデアリマス（拍手起ル）卽チ豫算ニ對シテ斯ノ如キ結果ヲ爲シタル者ハ貴族院諸公ニ非ズシテ山本內閣ガ其責任ヲ沒却シタル罪ノ致ス所デアルト信ズルノデアリマス（拍手起ル）殊ニ貴族院ガ此削減ヲ加フルニ至ッタ所ノ手續、議事ノ順序、投票ノ狀態ハ內閣員タルモノハ必ズ其席ニ居ッテ之ヲ聞キ之ヲ見タニ違ヒナイ、之ヲ見聞シテ彼等ノ良心ハ何ヲ彼等ニ向ッテ語ッタノデアリマス（拍手起ル）彼等ニシテ一片ノ良心無ク、政治上ノ責任ノ何物タルヲ解セスンバ則チ休ム、苟モ是アル以上ハ、彼ノ貴族院ノ言行ヲ見テ曜然トシテ悟ル所ガナケレバナラヌ筈デアル（拍手起ル）殆ド二百ニ近キ出席議員——既ニ殆ド二百ニ近キ出席議員ノ中不信任ノ意味ヲ以テ政府ノ案ニ大削減ヲ加ヘント欲スル者ハ二百四十人以上、殘リノ寧ロ政府ノ意見ニ從ハント欲スルノ四十有餘ノ議員ト雖モ、殆ド一人トシテ不信任ノ意味ヲ逃ベナイ者ハ無イノデアリマス（拍手起ル）政府ヲ贊成スル者ト雖モ唯タ國防ノ計畫ヲ贊成スルノミニテ、斯ノ如キ內閣ハ一日モ其位ニ置クベカラストヲフコトヲ、政府ヲ贊成スル方ノ人ガ皆ナ語ッテ居ルト云フコトヲ知ルノデアル（拍手起ル）其席ニ居ッテ尙ホ恬然トシテ居ルト云フニ至ッテハ、其厚顏無恥ノ甚シキニ驚クノデアル（拍手起ル）本員衆議院ニ列スルコト年淺カラズト雖モ、斯ノ如キ不都合ナル內閣諸大臣ヲ嘗テ見タコトハナイ（拍手起ル）大正ノ初年ニ於テ新帝陛下ノ新政ノ初ニ當ッテ、斯ノ如キ政治上ノ德義道德上ノ責任ヲ滅却シ、然モ天下風敎ノ根源ヲ紊ベキ內閣總理大臣ヲ此席ニ見ルト云フコトハ實ニ殘念ノ至リデアリマス（拍手起ル）唯今日ノ場合ニ於テ全體ノ諸君ノ愼重ナル御注意ヲ乞ヒタイコトハ、三千万圓ヲ削ッタル所ノ豫算ヲ、多數ヲ以テ決議シタル今日、貴族院カラ其再考ヲ求メラルヽ場合、卽チ再考セント欲スレバ再考ヲスベキ此機會ニ於テモ、尙再考セズシテ吾ミノ如ク重ネテ前議ヲ固執スル以上ハ、是ニ於テ二重ノ院議ハ確定セラルヽノデアル、況ヤ前ニ僅々タル多數ヲ以テ——政友會ノミノ多數ニ依テ決定セラレタル院議トハ違ッテ、今回ノ院議ハ——今回ノ院議ハ同志會諸君ヲ除イテハ全部ノ院議デアル、卽チ從前ヨリカ更ニ力ノ强キ院議ガ茲ニ二重ニ成立ツノデアリマスル、故ニ之ヲ決定シタル其後ニ於テ、若シ言葉ヲ些細ナル事ニ嫁シテ之ヲ改メント欲スルガ如キ者ガアルナラバ、實ニ當院ノ體面ヲ汚スノ甚シキモノデアルト云フコトハ、此席ニ於テ一言ヲ致シテ置キマス

○議長（長谷場純孝君）　花井卓藏君

○林毅陸君　議長

○議長（長谷場純孝君）　花井卓藏君ニ發言ヲ許シマシタ

（法學博士花井卓藏君登壇）

（拍手起ル）

○法學博士花井卓藏君　諸君私ハ現內閣ニ反對スルモノデアリマス、其施政ニ關シテハ百般ノ事悉ク反對デアリマス、海軍問題其他幾多ノ問題ニ於キマシテ議スベク論ズベキ非違ノアルコトヲ認ムルモノデアリマス、而シテ豫算案ニ對シマシテハ遺憾ナガラ上院ノ決議ニ同意ヲ表スルコト能ハザルモノデアリマス、而モ尾崎君ノ論ジマシタルガ如ク、上院ノ諸公ノ事ノ此ニ出デタル點ニ於キマシテハ、深ク之ヲ諒トスル者デアリマス、私ハ問題ノ內容ニ入リテ云爲スルコトヲ致シマセヌ、憲法第六十五條ノ精神ヲ重ンジテ院議ヲ尊重セザル可カラザルコトヲ確信スルモノデアリマス、憲法第六十五條ハ御承知ノ如ク豫算ニ付キマシテ衆議院ニ先議ノ權ヲ與ヘテ居リマス、憲法ノ起案者タル伊藤公爵ハ豫算ノ先議權ヲ以テ衆議院ニ授ケタル優勝ノ特權、最先ノ特權ト說イテ居リマス「豫算ヲ議スルハ政府ノ財務ト國民ノ生計トヲ對照シテ兩々相顧慮シ豐儉ノ程度ヲ得セシムルヲ要ス此レ乃衆民ノ公選ニ依リ成立スル代議士ノ職任ニ於テ尤緊切ナリトスル所ナリ」ト說イテ居リマス、是ニ依リマシテ憲法第六十五條規定ノ精神ト云フモノハ十分ニ發揮セラレテ居ルノデアリマス、抑ゝ豫算アルモノハ租稅承諾權ニ淵源スルモノデアリマス、卽チ承諾シタル租稅ハ承諾ノ目的トスル以外ニ支出スルコトヲ得ズトノ原則ニ胚胎致シテ居ルモノデアリマス、而シテ納稅ヲナストコロノモノハ誰人デアル、國民デアル、然ラバ卽チ國民ノ代表者トシテ國政ニ參與スル國民ヨリ公選セラレタル衆議院ノ意見ヲ以テ、眞ニ國民ノ意見ヲ代表スルモノト認ムベキハ精神ノ上ニ於テ爭フベカラザルコトナリト信ジテ居リマス、直接ニ國民ノ負擔ニ關係スル豫算ニ付キマシテハ、衆議院ニ重キヲ措カナケレバナラヌ理由ハ斯ノ如クニ明瞭デアルノデアリマス、先議權ノ根本觀念ハ全ク此ニアルト私ハ信ジテ疑ハナイノデアリマス、第六十五條ハ議案提出ノ順序ヲ定メタルモノ、卽チ輕キ意味ニ解スルモノト致シマシタナラバ、之ヲ憲法ノ規定ニ揭ゲシテ議院法ノ規定ニ讓リテ然ルベキモノデアリマス、唯單ニ提出スベシト云ヘルノ文字ハ、言葉ハ短カウゴザイマスケレドモ、言外千萬無量ノ精神解釋ガ籠ッテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ何レノ國ニ於キマシテモ取ルトコロノ原則デアリマシテ、上院ニ於カレマシテモ尾崎君演說ノ如ク二十五年來僅ニ一二ノ例ハゴザイマスルケレドモ、貫イテ此原則ハ認識セラレテ來ッタノデアリマス、衆議院ハ事實ニ於テ國民ヨリ選出セラレタル議員ヲ以テ組織セラレ、國民ノ生計、國民ノ負擔ノ程度ニ付キマシテハ、最モ能ク之ヲ了知シ、國家ノ歳入歳出ニ付キ最モ其利害關係ヲ直接ニ感ズルトコロノモノデアリマス、先議權ノ基礎觀念ハ實ニ此ニ在ルモノト本員ハ認ムルノデアリマス、先議權ノ觀念ハ卽チ豫算及財政ニ關スル法律ニ付キマシテ、衆議院ニ優先ノ權利ヲ認ムル觀念ハ其起源ヲ英國ニ發シ、凡ソ立憲君主國ノ憲法ハ其規定ノ上ニ、若クハ又慣例ノ上ニ又ハ精神解釋ノ上ニ之ヲ認メザルトコロハ斷ジテナイノデアリマス、憲法第六十五條ノ解釋ハ各〻據ルトコロガゴザイマシテ人亦必スシモ見ルトコロヲ同ジウ致シテ居リマセヌ、私ト雖モ反對論ノアルト云フコトハ之ヲ認メテ居ルノデアリマス、規定ノ解釋ト致シマシテハ唯單ニ提出スベシト云ヘルニ過ギナイノデゴザイマスカラシテ、果シテ先議權ノ中ニ含マレタルモノハ何デアルカ、衆議院ニ於テ先議ノ權ヲ有スルガタメニ貴族院ノ協贊ノ權利ノ總テヲ奪フト云フガ如クニ解釋シ得ベキカ否ヤハ、規定ノ上ニ於テハ文字上多少ノ論ハゴザイマス、併ナガラ憲法ノ精神解釋トシテ上院ガ今日マデ取ラレタル慣例ノ上ニ於テ、諸國ノ憲法ヲ參酌シテ本員見ル所ノ如ク解釋スルハ當然ナリト私ハ信ズルノデアリマス（拍手起ル）私ハ上院ニ於テ先議權ノ精神ヲ重ンゼラレテ、曾テ此點ニ關シテ甚シキ爭議ナク衝突ナクシテ、而シテ今日ニ及ビタルコトヲ甚ダ喜ビマスルト同時ニ、尾崎君演說ノ如ク已ヲ得ザルニ出デタル上院今日ノ態度ヲ悲ムモノデアリマス、而シテ其責任ノ現內閣ニ在ルト云フコトヲ斷ズルモノデアリマス（拍手起ル）然レドモ之ガ爲メニ豫算ニ於テ衆議院ノ先議權ヲ讓ル譯ニハ參リマセヌ、優勝ノ特權アルコトヲ讓ル譯ニハ參リマセヌ、本員ハ削減セラレタル內容ノ當否ノ審査ヲ爲スノデハナイノデアル、憲法ノ精神解釋トシテ先議權ヲ貴族院ニ讓ルト云フコトヲ欲シナイノデアル、他年一日上下兩院ノ爭アルニ當リ、下院ノ權利面目ヲ保ッ上ニ於テ斷ジテ議ルコトハ出來マセヌ、是ハ感情問題ニアラズシテ衆議院ノ有スル權利ノ問題デアル、體面ノ問題デアルノデアリマス、諸君吾ミハ斯ノ如クニ院議ヲ尊重致シマス、然レドモ上院亦見ル所アリテ固ク院議ヲ尊重セラルベキコトヲ信ジマス、甚ダ露骨ナル言葉デハ

ゴザイマスルガ、之ガ爲ニ豫算或ハ不成立トナルデアリマセウ、遺憾ナレドモ已ヲ得ナイノデアル、而シテ豫算ハ政府ニ對シテ財政ヲ處理スル全權ヲ與フルガタメニ必要ナルトコロノモノデアリマス、故ニ豫算不成立ニ歸シマシテ、其全權ヲ得ルニ望ナキ以上ハ、自ラ處決シテ其ノ望アル他ノ者ニ內閣ヲ讓ルカ、然ラズンバ議會ヲ解散シテ公明ナル國民ノ判斷ヲ俟ツノ外ナイノデアリマス、是ガ憲法政治ノ常道デアリマス、常軌デアリマス、豫算ハ議會ガ歲入歲出ニ協贊スルノ宣言デゴザイマス、財政ヲ行フノ必要條件デアリマス、而シテ今ヤ上下兩院見ル所ヲ同ジウセズ、歲入歲出ニ協贊スルノ宣言ヲ爲スコト能ハズ、財政ヲ處置スルノ宣言ヲ完ウスルコト能ハズ、財政ヲ行フ必要條件ヲ充スコト能ハズ、辭職カ解散カ、二者何レカ其一ヲ選ブノ外ナイト信ズルノデアリマス、私ハ內閣ノ此態度ニ出ヅルコトヲ以テ憲法政治ノ常軌常道ナリト信ズルト同時ニ、吾ミハ飽マデ憲法政治ノ常軌常道ヲ重ンジテ、固ク本院ノ院議ヲ支持致シタイノデアリマス

○林毅陸君　演說者ニ質問致シタイコトガアリマス

○議長（長谷場純孝君）　誰ニ質問デスカ

○林毅陸君　此場合ニ段々ヤッタ演說者ニ質問シタイ

○議長（長谷場純孝君）　モウドウデゴザイマス、モウ物ハ分ッテ居ルト思ヒマス

○林毅陸君　私ハ演說ヲスルノデハナイ、質問ヲスルノデアリマス——奧君ニ質問ヲシタイノデアリマス、奧君ハ此貴族院ヨリ回付シ來ッタ修正案ニ反對ヲ表セラレ、協議會ヲ開カンコトヲ求メラレタノデアリマスガ、併ナガラソレハ如何ナル理由ニ基クヲ明言セラレナイノデアル、何ガ故ニ貴族院ヨリ回付シ來ッタル修正案ニ反對スルノデアルカ、此重大問題ニ付テ何等ノ理由ヲ言明セラレズ、唯反對ナリト云フコトデハ其意味ガ分ラヌト考ヘマスカラ、更ニ其理由ヲ質問致スノデアリマス

（「登壇」「登壇」ノ聲起ル）

（奧繁三郎君登壇）

○奧繁三郎君　答辯シマス、陳述セザル事柄ニ對シテハ答辯ノ責任ナシ

○議長（長谷場純孝君）　別ニ贊成反對ノ通告モアリマセヌカラ、討論ハ十分ニ盡サレタモノト認メマス、採決ヲ致シマス、貴族院ノ修正ニ反對ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

（起立者多數）

○議長（長谷場純孝君）　多數、故ニ貴族院ノ修正ニハ反對ニ決シマス、仍テ議院法ノ第五十五條ニ從ヒマシテ、兩院協議會ヲ開クコトヲ求ムルノ要アルガ故ニ、協議員ノ數及選擧ノ方法ヲ議題ト致シマス

兩院協議會委員選擧方法ニ關スル件

○中村啓次郎君　唯今ノ御諮リニナリマシタ點ニ付キマシテ動議ヲ出シマス、兩院協議委員數ハ十名トシ、運記ヲ以テ直チニ當議場ニ於テ選擧スベシトノ動議ヲ提出スルノデアリマス

（「贊成々々」ノ聲起ル）

（小河源一君登壇）

○小河源一君　私ハ中村君ノ唯今述ベラレマシタル委員選擧ノ方法ニ付キマシテ反對意見ヲ陳述致ス者デアリマス、我衆議院ノ慣例ト致シマシテ——多クノ慣例ト致シマシテ委員ノ選擧ニ付キマシテハ議長ノ指名ニ一任ヲ致スト云フコトガ、是マデ慣例トナッテ居リマス、常任委員ノ選擧ノ如キ場合ニ於キマシテハ選擧ヲ行フテ居リマスルケレドモ、此間ニ於キマシテモ各黨派ニ對シマシテ按分比例ニ依テ委員ヲ出スノ方法ヲ豫メ協定ヲ致シテ、此約定ノ下ニ於テ選擧ヲ致スト云フ慣例ニナッテ居ルノデゴザイマス、近來我此議院ニ於キマシテ憲法ノ精神ヲ多クノ場合ニ於テ蹂躙セラレ、又或場合ニ於キマシテ憲法法律ノ明文ヲ蹂躙セラルヽト云フコトニ陷ッテ居ルコトヲ悲シム時ニ於キマシテ、此委員選擧ノ方法ハ、公平ニ出デマシテ一ノ美風ガ殘ッテ居ルト云フコトハ甚ダ喜ンデ居ッタトコロデゴザイマス、然ルニ今ヤ此委員選擧ノ場合ニ方リマシテ、更ニ此公平ヲ破ランガ爲メニ提出セラレタルトコロノ中村君ノ御意見デアリマス、若シ公平ヲ保ツノ考ガアリマスルナラバ、卽チ現議長ハ吾ミガ最モ公平ナリトシテ信用スルトコロノ議長デアリマス、而シテ其議長ハ政友會所屬ノ人デアリマス、此案件ガ重大ナレバ重大ナル程、公平ヲ保ツト云フコトハ最モ適當ノ事デアラウト信ズルノデアリマス、政友會諸君ハ吾ミ以上ニ議長ヲ御信用ナサッテ居ルデアラウト思ヒマス、此公平ナル議長、又政友會ノ席ニ屬スルトコロノ議長ニ何故ニ此委員選擧ヲ一任スルコトガ出來ヌデゴザイマセウ、言ハズトモ此間ニ於キマシテハ公平ナル議長トシテハ、按分比例ニ依テ委員ヲ選擧スルヨリ方法ハナイノデアルカラ、議長ニ不公平ヲ行ハシメルト云フコトハ出來ナイカラシテ、ソコデ選擧ト云フコトニ致シ、多數ヲ有スルトコロノ政友會諸君ガ此十名ノ委員ヲ政友會ニ獨占シヤウト欲スルノ心ヨリ、茲ニ出タルモノデアルト云フコトハ疑ヲ容レナイノデアル、諸君ハ——政友會ノ諸君ハ何故ニ好ンデ斯カル不公平ナル處置ヲ取ッテ、而シテ世ノ非難ヲ受クルコトヲナサル、ノデアリマセウ、斯ノ如キ方法ニ依テ而シテ委員ヲ獨占致シマシテ、之ニ依テ得ルトコロハ如何ナル利益ヲ得ラル、ノデアリマス、兩院協議會ニ於キマシテ、唯協議會ノ一場ニ於テ勝利ヲ得ルト云フコトノ結果ヲ得ルノ外ハナイノデアル、聞ク所ニ依リマスレバ、貴族院ニ於テハ此委員十名ヲ選ブニ當ッテハ、貴族院ニモ貴族院ノ大勢ニ反對スル四十四人ノ者ガアルト云フコトヲバ承ッテ居リマスガ、ヤハリ貴族院ニ於テハ公平ニ各黨派ニ按分シテ委員ヲ選出セラレルト云フコトデアル、洵ニ公平ノ處置デアリマス、斯樣ナ方法ニ致シテ委員ヲ選擧致シテ、衆議院ニ於テハ政友會ヨリ十名ノ者ヲ出シ、貴族院ニ於テハ七千万圓倒滅ノ意見ヲ有スル者例ヘバ八人ヲ出シ、二人ガ之ニ反對ノ委員ガ出マシタナラバ、協議會ノ二十名ノ委員中貴族院說ハ八名トナリ、衆議院ハ十二名トナル結果ヲ生ズルノデアル、（「ソレデ宜イデハナイカ」ト呼フ者アリ）惡イトハ申シマセヌ御聽キナサイ、斯ノ如ク致シテ而シテ協議會ニ於テハ投票ノ結果ハ十二ニ對スル八デアル、卽チ十二ニ依テ政友會ノ意見ガ勝利ヲ得ルト云フコトノ此決ヲ採ルノ外ハ何等ノ利益モナイノデアル、而シテ此協議會ノ委員ニ於テ勝利ヲ得マシタ其勝利ハ、果シテ何等ノ效果ヲ生ズルノデアルカ（「國民ノ輿論ダ」ト呼フ者アリ）是ハ直チニ其問題ガ確定スルノデナク、直チニ衆議院貴族院ニ於テ此協議ガ纏ラナイト云フコトニ歸スルコトハ——議決ノ上デ左樣ナ結果ヲ來スコトハ論ヲ待タナイノデアル、然ラバ此協議會ニ於ケルトコロノ勝利ハ一時ノ幻シ見タヤウナモノデハアリマセヌカ、此一時ノ勝利ヲ得ルコトハ何等諸君ニ利益ハナイノデアル、若シ特殊ノ利益アリトシテ考ヘテ見マスルナラバ、何等ノ利益ガアル、唯世間ニ對シ若クハ新聞ニ對シテ觸廻ハス時ニ當ッテ、衆議院說ハ十二名デアッテ、貴族院說ハ八名デアッタ、ソレニモ拘ラズ貴族院ガ頑冥ニモ否決ヲ致シタト云フ斯樣ナ口實ヲ設ケル外ニ利益ハナイ（「口實デハナイ事實ダ」ト呼フ者アリ）諸君、私ハ敢テ諸君ニ望ミマスル、此場合ニ於キマシテ唯此選擧ノ方法ニ於テ、政友會ガ橫暴ヲ極メタリトノ世間ノ批評ヲ避ケルガ爲ニ（「ソウ〳〵」）「何ガ橫暴ダ」ト呼フ者アリ）又甚ダ其手段ガ狡猾ナリトシテ世間ニ憎マレルトコロノ情ヲ除クガ爲ニ、此選擧ノ方法ハ卽チ公平ナル議長指名ノ十名ニ改メラレンコトヲ希望致シマス（拍手起ル）

○中村啓次郎君　小河君ニ質問ガアリマス

○議長（長谷場純孝君）　モウ採決ヲ致シマス

（小河源一君「質問ガアレバ幾ラデモ答ヘマス」ト呼フ）

○中村啓次郎君　小河君ノ唯今ノ演說ハ、本員ノ動議ニ對スル反對演說デアルカドウカヲ承リタイ

（小河源一君「反對演說」ト呼フ）

○中村啓次郎君　斯ノ如キ議長指名ノ委員ヲ選擧スベシト云フガ如キコトハ、動議ヲ提出スルニアラザレバ能ハナイコトデアリマス

○議長（長谷場純孝君）　議長ハ小河君ノ說ハ修正動議ト認メマス

（「ヒヤ〳〵」ト呼フ者アリ）

○中村啓次郎君　定規ノ贊成者ガアリマスカ

（「大アリ」ト呼フ者アリ）

○議長（長谷場純孝君）　ソレデハモウ採決ヲ致シマス、中村君カラ既ニ協議委員ノ數ハ十名トシ、連記ヲ以テ直チニ本議場ニ於テ選擧スベシト云フ動議ガ出テ居ル、之ニ對シテ小河源一君ヨリ議長指名トスベシトノ修正說ガ出マシタ故ニ、議長ハ最モ公平ニ議場ニ之ヲ諮フテ、サウシテ何方カニ決シマス（「公平々々」ト呼フ者アリ）本動議ニ對スル修正カラ採決致シマス、小河君ノ修正、議長指名ト云フコトニ同意ノ諸君ノ起立ヲ望ミマス

起立者　少數

○議長（長谷場純孝君）　少數ト認メマス、仍テ協議委員ノ選擧ノ方法ハ、中村啓次郎君ノ動議ノ通リ決定致シマス

（拍手起ル）

○議長（長谷場純孝君）　念ノ爲ニ御注意致シマス、投票ニ付テ――協議委員ノ數ハ今諸君ガ決定サレタ如ク十名デアリマス、而シテ連記デアリマス、成ベク明瞭ニ被選人ノ氏名ヲ御記載アランコトヲ望ミマス、尙投票ノ際ハ必ズ木札ノ名刺ヲ添ヘテ持參セラレンコトヲ御注意致シマス――是ヨリ氏名點呼ヲ始メマス

（書記氏名ヲ點呼ス）

（議長長谷場純孝君退席副議長關直彥君議長席ニ著ク）

○副議長（關直彥君）　投票漏ハアリマセヌカ、無イト認メマス――開函ヲ命ジマス

（書記官投票ノ數ヲ計算ス）

○副議長（關直彥君）　開票ヲ命ジマス――投票總數三百四十、名刺ト投票ノ數ト符合致シマス（「分カリマセヌ幾ツデスカ」ト呼フ者アリ）三百四十――チヨット御諮リヲ致シマス、此投票ノ計算中ニ、投票中ニ全部同一ナルモノガ澤山アルヤウデアリマス、ソレヲ一々讀上ゲマスルト云フト甚ダ時間ガ長クナリマスルカラ、同ジモノハ合計致シマシテ計算シ、同ジデナイモノヽミヲ讀上ゲタイト思ヒマスガ如何デス

（「贊成」「異議ナシ」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　御異議ノナイモノト認メマス、ソレナラバ同一ノモノヲ合計シテ計算致シマス――投票ヲ讀上ゲサセマス

（津久井書記官投票ヲ讀上ク）

○副議長（關直彥君）　投票ノ結果ヲ報告致シマス

（林田書記官長朗讀）

兩院協議會委員選擧ノ結果

二百一點	長島鷲太郎君	二百點	奧繁三郎君
百九十九點	伊藤大八君	百九十九點	野田卯太郎君
百九十九點	鶴原定吉君	百九十九點	村野常右衞門君
百九十九點	改野耕三君	百九十九點	井上角五郎君
百九十九點	小川平吉君	百九十九點	菅原傳君
百三十七點	尾崎行雄君	百三十三點	花井卓藏君
九十五點	武富時敏君	九十五點	片岡直溫君
九十四點	大石正己君	九十三點	河野廣中君
九十三點	箕浦勝人君	八十七點	守屋此助君
七十點	犬養毅君	七十點	濱田國松君
三十點	島田三郎君	十九點	林毅陸君
十五點	關直彥君	十四點	肥塚龍君
十四點	石田仁太郎君	十四點	小河源一君
十點	早速整爾君	十點	菊池侃二君
九點	土方千種君	九點	田川大吉郎君
九點	菊池武德君	九點	增田義一君
八點	鈴木梅四郎君	八點	野添宗三君
八點	高木正年君	八點	高木益太郎君
七點	藏原惟郭君	七點	鈴木萬次郎君
七點	阪本彌一郎君	七點	村松龜一郎君
六點	關和知君	六點	八田裕二郎君
五點	八見米次郎君	五點	相島勘次郎君
五點	大竹貫一君	五點	小寺謙吉君
五點	加藤政之助君	四點	金尾稜嚴君
四點	荒川五郎君	四點	大口喜六君
四點	鵜澤總明君	四點	紫安新九郎君
三點	古島一雄君	三點	小泉又次郎君
三點	淺羽靖君	三點	坂口仁一郎君
三點	豐福泰藏君	三點	小西和君
三點	岩下清周君	三點	奧山寬平君
三點	山谷虎三君	三點	吉田圓助君
三點	橋本太吉君	二點	平野龜之助君
二點	市川文藏君	二點	安達謙藏君
二點	神藤才一君	二點	木下謙次郎君
二點	早川鐵冶君	二點	中小路與平治君
二點	藤澤幾之助君	二點	町田忠治君
二點	清水仁三郎君	二點	柏原文太郎君
二點	柴田源左衞門君	二點	的野半介君
一點	黑須龍太郎君	一點	鈴置倉次郎君
一點	原敬君	一點	中山梅次郎君
一點	矢島八郎君	一點	松本恆之助君
一點	根津嘉一郎君	一點	大內暢三君
一點	中川虎之助君	一點	田中善立君
一點	原田赳城君	一點	星野錫君
一點	野村嘉六君	一點	福井三郎君
一點	伊東知也君	一點	森田小六郎君
一點	森丘覺平君	一點	山道襄一君

外ニ白紙一箇

（兩院協議會委員選擧投票者氏名左ノ如シ）

稻茂登三郎君	岩崎勳君	岩崎總十郎君	岩本平藏君
岩岡伊代治君	岩田大中君	井上篤太郎君	井上敏夫君
井上角五郎君	井深彥三郎君	石黑磐君	伊藤大八君
伊藤祐一君	伊東要藏君	板倉中君	飯田新右衞門君
一坂俊太郎君	濱名信平君	濱田政壯君	濱本義顯君
長谷川敬一郎君	早川六三郎君	葉住利藏君	原眞澄君
原敬君	原田十衞君	春田祐清君	林永太君
板東勘五郎君	西谷金藏君	西風重遠君	本出保太郎君
帆足隼太郎君	細梅三郎君	堀切善兵衞君	法橋善作君

友常穀三郎君　富安保太郎君　奥田榮之進君　大島寛爾君　太田直次君　若尾幾造君　改野耕三君　加藤勝彌君　横田千之助君　吉原正隆君　高橋光威君　高嶺朝教君　田代進四郎君　津島源右衛門君　根本正君　永江純一君　武藤金吉君　上埜安太郎君　藏内治郎作君　熊谷直太君　安村竹松君　松城兵作君　丸尾光春君　福岡世德君　小泉策太郎君　小坂順造君　江藤哲藏君　相川久太郎君　齋藤安雄君　佐々木文一君　澤來太郎君　岸本賀昌君　三浦盛德君　翠川鐵三君　島田俊雄君　平田禎君　廣澤辨二君　森田俊左久君　元田肇君　鈴木巖君　伊東知也君　西村丹治郎君　大内暢三君　高木益太郎君　村松恆一郎君　増田義一君

友枝梅次郎君　飛岡卯一郎君　岡田泰藏君　大橋松二郎君　小山田信藏君　若杉喜三郎君　川村曄君　加藤新次郎君　横山寅一郎君　吉田虎之助君　高橋直治君　高津仲次郎君　武部其文君　恆松隆慶君　中倉万次郎君　長島鷲太郎君　漆昌巖君　内山吉太君　日下義雄君　串本康三君　八木逸郎君　松浦五兵衛君　丸山豐治郎君　福井準造君　小林源藏君　小出五郎君　手塚正次君　阿部德三郎君　齋藤珪次君　佐々木仙一君　榊田清兵衛君　柚木慶二君　三浦覺一君　光森德治君　白川友一君　日向輝武君　肥後靜雄君　森川源吾君　關信之介君　菅原傳君　市川文藏君　豐福泰造君　柏原文太郎君　高木正年君　紫安新九郎君　的野半介君

戸狩權之助君　長晴登君　岡田榮君　大岡育造君　小川平吉君　渡邊祐策君　川眞田德三郎君　粕谷義三君　吉植庄一郎君　米田穰君　高島茂平君　田邊熊一君　武市庫太君　鶴原定吉君　中村啓次郎君　村野常右衛門君　植場平君　野田卯太郎君　工藤吉次君　山本悌二郎君　松本宗吾君　松田吉三郎君　増田穰三君　福井三郎君　小久保喜七君　兒玉亮太郎君　秋岡義一君　有馬秀雄君　佐野喜平太君　佐藤信古君　木津太郎平君　三輪市太郎君　三土忠造君　水間此農夫君　白石直治君　樋口喜輔君　森久保作藏君　望月右内君　清崟太郎君　金子圭介君　犬養毅君　奥山寛平君　金尾稜嚴君　中山梅治郎君　野添宗三君　古島一雄君

戸水寛人君　奥繁三郎君　岡崎邦輔君　大久保弁太郎君　小川藏次郎君　渡邊修君　川原茂輔君　笠原忠造君　吉原祐太郎君　高鍋篤郎君　高田露君　田村順之助君　武滿義雄君　根岸岩太郎君　永見寛二君　村井善四郎君　鵜澤總明君　則元由庸君　熊谷五右衛門君　山本七朗君　松本孫右衛門君　松田源治君　福岡精一君　麓純義君　小山完吾君　遠藤良吉君　安藤新太郎君　東武君　佐竹作太郎君　指田義雄君　木下成太郎君　三谷軌秀君　宮古啓三郎君　清水市太郎君　志々目藤彦君　樋口典常君　森茂生君　望月圭介君　瀬戸山清彦君　石田仁太郎君　濱田國松君　大口喜六君　吉田圓助君　中小路與平治君　山谷虎三君　小西和君

相島勘次郎君　平野龜之助君　關直彦君　早速整爾君　林毅陸君　小田知周君　風間禮助君　田川大吉郎君　安田伊左衛門君　菊池侃二君　森田小六郎君　原脩次郎君　奥田柳藏君　大原義剛君　河野廣中君　狩野雄一君　添田飛雄太郎君　中安信三郎君　野村嘉六君　山田珠一君　松下軍治君　福田善三郎君　小林勝民君　荒川五郎君　坂口仁一郎君　木下謙次郎君　水野正己君　森丘覺平君　須藤嘉吉君　星野錫君

青地雄太郎君　人見米次郎君　鈴木梅四郎君　八田裕二郎君　岡部次郎君　尾崎行雄君　高野金重君　中川虎之助君　松本恆之助君　菊池武德君　井上廣居君　半谷清壽君　岡崎久次郎君　小河源一君　加藤政之助君　竹村欽次郎君　辻寛君　中野貫一君　藏原惟郭君　山道襄一君　町田忠治君　藤澤幾之輔君　肥塚龍君　淺羽靖君　櫛瀨軍之佐君　目黒孝平君　清水隆德君　鈴木萬次郎君　杉山東太郎君　中辰之助君

清水仁三郎君　土方千種君　岩下清周君　橋本太吉君　大西五一郎君　尾崎元次郎君　田中善立君　村田虎次郎君　小山谷藏君　三輪信次郎君　井手三郎君　本田恆之君　大森與三次君　川合直次君　加賀卯之吉君　武内作平君　津末良介君　村松龜一郎君　黑須龍太郎君　矢島八郎君　眞舘貞造君　小泉又次郎君　秋田清君　齋藤隆夫君　阪本彌一郎君　三浦逸平君　島田三郎君　鈴木寅彦君　西英太郎君　福澤桃介君

柴田源左衛門君　守屋此助君　石橋爲之助君　花井卓藏君　大竹貫一君　加瀨禧逸君　田中清文君　久保通猷君　才賀藤吉君　平出喜三郎君　早川鐵治君　富田幸次郎君　大石正己君　川上淳一郎君　片岡直溫君　武富時敏君　根津嘉一郎君　鵜澤宇八君　國光五郎君　矢島浦太郎君　福田又一君　小寺謙吉君　安達謙藏君　齋藤宇一郎君　木村良君　箕浦勝人君　神藤才一君　鈴置倉次郎君　濱岡光哲君　肥田景之君

○副議長（關直彦君）　サウスルト始メ十人伊藤大八君、野田卯太郎君、奥繁三郎君、鶴原定吉君、村野常右衛門君、改野耕三君、井上角五郎君、小川平吉君、長島鷲太郎君、菅原傳君、此十人ガ協議委員ニ御當選ニナリマシタ……日程ノ第二第三ハ同一委員ニ付託サレタル議案デアリマスカラ、一括シテ議題トシヤウト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔「異動ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕

○副議長（關直彦君）　御異議ガゴザイマセヌケレバ一括シテ議題ト致シマス、耕地整理法中改正法律案、地租條例中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長不在ニ付キ理事木村艮君ヨリ報告ヲ受ケマス

第二　耕地整理法中改正法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

第三　地租條例中改正法律案（政府提出）　第一讀會ノ續（委員長報告）

〔木村艮君登壇〕

○木村艮君　委員長ガ御不在デゴザイマスカラ私カラ委員會ノ經過及結果ノ概要ヲ

簡單ニ御報告致シマス、此耕地整理法中ノ改正案法律案ハ二十數箇條ニ渉ッテ居ルノデゴザイマスガ、其要點ハ二ツアルノデアリマス、卽チ從來ノ耕地整理ト云フ範圍ヲ廣メマスト云フコト、ソレカラ特典ト申シマスカ利益ヲ殖シマスト云フコト、ソレカラ第三ハ從來ニゴザイマシタ不備ノ點ヲ補フト云フ二點デアルノデアリマス、其範圍ヲ廣メマスト云フコトハ湖デアリマストカ、或ハ湖水面デアリマストカヲ埋立テマストカ、若クハ之ヲ干拔カシマスト云フ所謂干拓ト云フヤウナコトヲ、耕地整理ト云フ範圍内ニ入レヤウト云フノデアリマス、ソレカラ特典利益ノ增進ト致シマシテハ、從來ノ開墾若クハ地目變換ニ對シマシテハ、二十箇年トカ或ハ七箇年間ノ地價据置ガゴザイマシタガ、今回ノ改正ニ依リマシテ君シモ其期限ガ到來致シマシテモ、地味ガマダ不十分デ十分ナル收穫ヲ擧ゲルコトノ出來ナイ場合ニハ、更ニ年限ヲ延期シヤウト云フノデアリマス、ソレカラ第三ノ不備ノ點ト申シマスノハ、從來耕地整理ニ對シテ犯罪不正ノ行爲ノアリマシタ者等ニ對シマシテハ、之ニ對スル制裁ノ規定ガ無カッタノデアリマス、之ヲ今回規定致シマシタト云フノデ、條項ガ非常ニ長クナッテ居ルノデアリマスケレドモ、以上申述ベマシタ二箇ノ要點及ビ之ニ附隨致シマシテ條文ノ改正ヲセラレタノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、一回開會ヲ致シマシテ、時ニ速記ヲ省キマシテ政府ノ意思ノアルトコロヲ十分ニ聽取リマシタガ、何レモ耕地整理促進奬勵ノ爲ニ最モ必要デアルト云フコトデ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタノデゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス、次ニ地租條例ノ方ハ、是ハ極ク簡單デゴザイマシタノデ、從來稅ノ方ニ軌道用地ト云フノガゴザイマシタガ、運河ノ用地ト云フモノガ同樣ナモノデアルニ拘ラズ免稅ノ恩惠ニ浴シテ居リマセナカッタカラ、之ヲ免租地區ニ入レヤウト云フコト、モウ一ツハ耕地整理法ノ改正ノ結果ト致シマシテ、干拓ト云フ文字ヲ十六條ニ插入スルト云フノデゴザイマシテ、是モ極ク簡單デアル、且ツ適當ナ改正デアルト致シマシテ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタノデアリマス、此際ニ一ツ附加ヘテ置キマスガ、大橋君外兩人カラ御提案ニナリマシタ耕地整理法ノ改正案ハ、ヤハリ今回ノ政府ノ提出ニナリマシタ十四條中ノ改正ノ中デ、御提出ヨリ以上ノ希望ガ含マレテ居ルト云フノデアリマシタカラ、是ハ別段ニ議決ヲ要セヌト云フコトニナッタノデアリマス、尙此場合ニ耕地整理ニ付テ委員中ヨリ希望ガゴザイマシタカラ、此條項ダケヲ御報告申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ソレハ耕地整理ヲ段々實行致シマスルニ付キマシテハ、低利而モ多額ノ資金ヲ要スルコトニナリマスカラ、政府當局者ハ此資金融通ノ途ニ付テ十分ノ力ヲ盡サレタキコト、及ビ水利ト云フ關係ガ將來耕地整理ノ施行上非常ナル關係ヲ持ツ次第デアリマスカラ、之ニ就テモ十分ナ考慮ヲ費サレタイト云フコトノ二箇條ノ希望ヲ、是亦全會一致デ希望ヲ述ベテ置イタ次第デアリマス、此段御報告ヲ致シマス（拍手起ル）

○副議長（關直彥君）　別ニ質問モ發議モアリマセヌカラ採決ヲ致シマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシト云フ說ニ御異議ガアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　ソレデハ耕地整理法中改正法律案竝ニ地租條例中改正法律案ヲ第二讀會ニ移スト云フコトニナリマシタ

○中村啓次郎君　直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

（「贊成々々」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　二案共デアリマスカ

○中村啓次郎君　サウデス

○副議長（關直彥君）　二案共二一括シテ中村君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

耕地整理法中改正法律案
地租條例中改正法律案

第二讀會（確定議）

○副議長（關直彥君）　御異議ナイト認メマス、仍テ直チニ第二讀會ヲ開キ、二讀會ヲ省略シ委員長報告通リ可決確定シテ差支アリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　御異議ナイト認メマス、委員長報告ノ通リ決定致シマス、次ハ日程第四、治安警察法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長岩崎總十郎君

第四　治安警察法中改正法律案（關直彥君外三名提出）第一讀會ノ續（委員長報告）

（岩崎總十郎君登壇）

○岩崎總十郎君　治安警察法中ノ改正法律案、同案ノ委員會ノ經過竝ニ其結果ヲ御報告致シマス、同法ノ第二條ノ第四項ニ「法令ヲ以テ組織シタル議會ノ議員選擧準備ノ爲メニ選擧權ヲ行フヘキ者及被選擧權ヲ有スルモノニ限リ」云々投票ノ日ヨリ前五十日間ハ本條第二項ノ屆出ヲ要セス」斯ウ云フ條項ガゴザイマス、然ルニ改正法律案ノ提出者ノ意見ハ、獨リ選擧權ヲ行フヘキ者及被選擧權ヲ有スルモノニ限リ屆出ヲ要セズト云フコトニヨリ、之ヲ擴メテ一般公衆ニマデ及ボシタイト云フ意見デアリマス、ソレカラ又同法ノ第四條ニハ屋外ニ於ケル所ノ集會竝ニ運動等ニ付テハ、十二時間以前ニ所轄警察署ニ屆出デヨト云フノガ現行法デゴザイマス、ソレヲ改正案ノ提出者ハ之ヲ三時間ニ改メタイト云フ意見デアリマシタ、尙又同法ノ第五條ニ女子及未丁年者ハ政談演說會ノ發起人タルコト、竝ニ其傍聽ヲ禁ジテゴザイマスガ、ソレヲ取除イテ自由ニ傍聽ヲセシメル、又未丁年者ヲ除イテハ發起人タルコトヲ得ルト云フコトニ改正致シタイト云フノデアリマス、然ルニ是等ノ改正法律案ニ付テ、政府委員ノ意見ヲ求メ、竝ニ委員ノ應答ヲ重ネ、攻究ノ結果左ノ如ク改正スル所ノ動議ガアリマシタ、ソレハ第二條ノ四項中ニ選擧權ヲ行フベキ者、被選擧權ヲ有スル者ニ限ルト云フコトヲ擴張シテ、一般公衆ニ其自由ヲ與ヘルト云フコトハ全會一致ヲ以テ決シタノデアリマス、併ナガラ前五十日間ト云フコトハ長キニ失スルガ故ニ、前二十日ト改メタイ、選擧ノ準備等ノ場合ニ於テハ、選擧當日ノ五十日間前ト云フコトハ長キニ失スルガタメニ、二十日ト改メタイト云フコトノ動議ガアリマシテ、是ハ此通リ改メテ提出者ノ意見通リ決シタノデアリマス、ソレカラ次ハ第四條ノ「十二時間」ヲ「三時間」ニ改メタイト云フ點ニ付テ、尙又修正ノ動議ガアリマシタ、其修正ハ現行法ノ十二時間ト云フノヲ半減シテ六時間ニ改メタイト云フ修正デアリマス、尙又六時間ニ改メルコトハ相當デアルケレドモ、之ヲ例セバ東京若クハ大阪ノ如キ大都會ニ於テ、公衆ガ二萬モ二萬モ集會スルト云フヤウナ場合ニ於テハ、六時間前ノ屆出ニ於テハ取締ガ十分デナイト云フ點ニ疑義モアリマシタガ、故ニ、政府委員等ニ能ク質問ヲ致シマシタ所ガ、ヤハリ修正者ト同意見ナルガ故ニ、修正者ハ此點ニ付テ斯樣ナル一項ヲ提出サレタノデアリマス、ソレハ前項ノ屆出ノ時間ハ地方ノ狀況ニ依リ必要アルトキハ、命令ヲ以テ十二時間マデノ範圍内ニ於テ適宜之ヲ定ムルコトヲ得ト云フコトノ條項ニ致シタノデアリマス、併シナガラ此條項ヲ濫用スル場合ニ於テハ、縱令十二時間前ト云フモノヲ六時間ニ短縮シテモ、事實ニ於テ改正ノ實ガナイト云フ所カラ、政府委員ニ伺ッテ十分ナル質問ヲ致シテ其範圍ヲ質シタノデアリマス、所ガ政府委員ハ全ク十二時間ヲ六時間ニスルト云フコトヲ改メタ以上ハ、嚴行スル積リデアル、併シナガラ萬一ヲ慮ッテ斯ノ如キ條項ヲ插入セラルヽコトデアレバ、政府ハ其趣意ニ基イテ濫用等ハ一切ナイコトヲ保證スルト云フ意味ノ答辯ガアッタノデアリマス、ソコデ委員ノ多數ハ此條項ヲ必要ナリトシテ修正動議ノ如ク可決致シマシタ、ソレカラ次ニ第五條ノ法律案ヲア

リマス、卽チ未丁年者竝ニ女子ニ政治演說ヲ聞カセルト云フコトノ箇條デアリマスガ、是ハ多數ニ於テ今日ノ場合此改正ヲ要セヌト、此改正ハ却テ風紀ニ害ガアルト云フ趣意ヲ以テ是ハ否決ニナリマシタ、承ル所ニヨルト、此點ハ改正案ノ提出者ニ於テ十分ニ御議論ヲナサルト云フコトデアリマスカラ、其理由ノ當否ハ委員長ニ於テ委員會ノ經過ヲ御報告スル必要ガナイト思ヒマス、要スルニ之ヲ否決スル所ノ委員ノ考ハ將來ニ於テハ斯樣ニ擴張スル場合モアラウガ、現在ノ日本ノ政界ニ於テ、女子ニ政談演說等ヲ傍聽セシメルコトハ害アッテ益ナイモノデアルト云フ考ヨリ、多數ヲ以テ之ヲ否決シタノデアリマス、此段御報告ヲ致シマス（「モウ一ツ大學敎授ノコトガ落チテ居ル」ト呼フ者アリ）成程委員長ハチョット一箇條落シマシタ、是ハ改正案提議者ニ係ハラヌモノデアリマシテ、委員ノ一人ヨリ動議ガアッタノデアリマス、ソレハ第五條ノ第四項中ノ敎員ト云フ其下ニ「帝國大學及專門學校令ニ依ル學校ノ敎員ヲ除ク」ト云フ一項ヲ加ヘタノデアリマス、其理由ハ現行法ニ於テハ是等敎員ハ所謂敎育ニ從事スル所ノモノデ、普通學ノ敎員ノミナラズ、帝國大學若クハ專門學校令ニ依ル所ノ學校ノ敎員モ、此中ニ入ッテ居ルノデアリマスガ、帝國大學若クハ專門學校令ニ依ル所ノ學校ノ敎員ノ如キハ、敎育ト云フヨリハ寧ロ學術ト云フモノヲ研究スル所ノ專門學校ノ敎員ニマデ、政談演說ヲ聞カセヌト云フノハ、是ハ甚ダ不都合デアル、故ニ唯今申シタル敎員ダケハ除クト云フコトノ修正動議ガアリマシテ、是ハ可決ニナリマシタ、此段御報告ヲ致シマス

○副議長（關直彥君）　一讀會ニ於テハ別ニ質問竝ニ發議アリマセヌカラ 採決ヲ致シマス、本案ハ第二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　御異議ガナイト認メマス、二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○中村啓次郎君　直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○副議長（關直彥君）　中村君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　御異議ナシト認メマス、直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ議題ニ供シマス、而シテ修正意見ノ通告ガアリマス——村松恆一郎君

治安警察法中改正法律案

第二讀會（確定議）

（村松恆一郎君登壇）

（拍手起ル）

○村松恆一郎君　簡單ニ修正意見ヲ述ベテ置キマス、唯今委員長カラ御報告ニナリマシタノハ、其箇條ニ依リマシテノ本員等モ贊成ヲ致ス點モアルノデアリマシテ、此第二條ニ於キマシテ「選擧前五十日間」ト云フノヲ「二十日間」ニセラレタコトハ餘リ滿足デハアリマセヌガ、兎ニ角吾ミノ意見ガ容レラレテ一般公衆ヲ會スル時デモ、選擧前二十日間ハ無屆デ演說會ガ開ケルト云フコトニ相成ルノハ、確カニ進歩デアリマスカラシテ贊成ヲ致シテ置キマスル、ソレカラ此第四條中ノ屋外ノ集會ニ於テ、十二時間前ニ屆出デルト云フ現行法ヲ吾ミハ普通ノ集會ト同ク三時間前ニ屆ケルト云フノデアリマシタガ、之ヲ六時間ニ改メラレタノデアリマスルガ、是モ吾ミノ意見トハ少シク相違ハアリマスルケレドモ、大體ニ於テ餘程吾ミノ意見ニ近クナッタノデアリマスルカラ、其精神ニ於テハ必ズシモ異議ヲ唱ヘルノデアリマセヌガ、此第四條ノ第二項トシテ加ヘラレタトコロノ「前項屆出ノ時間ハ地方ノ狀況ニ依リ必要アルトキハ命令ヲ以テ十二時マテノ範圍ニ於テ適宜之ヲ定ムルコトヲ得」ト云フ、此但書ヤウノ一項ヲ附加ヘラレタ、是モ已ムヲ得ナイカモ知レナイノデアリマスルガ、單ニ之ヲ地方ノ狀況ニ依ルト云フコトニシテ置ケバ、何レノ地方ニ於テモ命令ヲ以テ隨意ニ此時間ノ範圍ヲ擴ゲテ十二時間マデニスルト云フヤウナコトガアリマスノデ、殆ド此法文ト云フモノハ無效ニ屬スルコトニナルノデアリマスルカラ、政府委員ノ既ニ言明セラレタル如ク、此六時間ト云フコトデ差支ノアル時ニハ、東京大阪ニ限ルト云フコトハ、政府委員ハ言明ヲセラレタノデアリマスカラ、吾ミハヤハリ之ヲ此法文ノ中ニ明カニシテ置キマシテ、卽チ「地方ノ狀況ニ依リ」ト云フノヲ「東京市及大阪市ニ限ル」ト斯ウ云フ文字ヲ此處ニ入レタイノデアリマス、或ハ法文上デ體ヲ爲ストカ、爲サヌトカ云フ意見モ委員會デアリマシタケレドモ、併シ法律ハ成タケ意義ヲ明確ニシテ置クコトガ必要ナノデアルカラ、私ハ玆ニ此修正意見ヲ提出致シマシテ、卽チ東京大阪ニ限ルト云フコトヲ玆ニ明確ニ致シテ置キタイ、ソレカラ第五條ノ方ニ於キマシテ唯今委員長ノ御報告ノ如ク、委員會デハ吾ミノ提案ヲ否決セラレタノデアリマスルガ、私共ハヤハリ最初ノ提案ノ如ク之ヲ繼持スルト云フコトデ、玆ニ修正意見ヲ提出致シタイト思ヒマス、卽チ其要ハ婦人ヲシテ政談集會ニ會同セシメルト云フコトヲ許シタイト云フノガ本員等ノ趣意デアルノデアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ、イロ〳〵反對ノ意見ガアリマシテ、婦人ヲ政談集會ニ會同セシメルト云フコトニナレバ、更ニ新ラシキ婦人ナルモノヲ生ズルヤウナ虞ガアルト云フヤウナ御議論モアッタノデアリマス、其他イロ〳〵ノ說モアリマセヌケレドモ、吾ミモ此新ラシキ婦人——所謂新シキ婦人ナルモノハ餘リ感服致サナイノデアリマス、又吾ミハ此女權擴張ト云フ程ナ考モ持ッテ居ラヌノデアリマス、況ヤ婦人ニ參政權ヲ與ヘルト云フコトモ餘リ主張スルノハ、少ナクモ婦人ヲシテ此婦人ヲ政治上ノ集會ニ會合セシメルト云フコトヲ主張スルノハ、少ナクモ婦人ヲシテ人間同等ノ扱ヒヲシロト云フコトニ止マルノデアル（笑聲起ル）既ニ婦人ト雖モ國民デアル以上ハ、成年ニ達スレバ男子ト同等ノ理解力ヲ有チ、又男子ト同等ニ社會上ニ地位權利ヲ有スルモノデアルト云フコトハ、法律モ認メテ居ルトコロデアルノデアリマス、然ルニ獨リ婦人ニ限リ最モ國民ノ利害ニ關スルトコロノ政治上ノ事項ヲ審議スル其集會ニ會同スルコトガ出來ナイト云フコトハ、人權ノ上カラ之ヲ許スコトガ出來ナイト私ハ思フノデアリマス、又事實ノ上カラ申シマシテモ、第一期以來政友會ノ前身タル自由黨ノ諸君ハ、常ニ此婦人ヲ政談集會ニ會同セシメルト云フコトニ付テハ御主張ニナッテ來タノデアリマシテ、既ニ前方提出ノ理由ヲ述ベマスル時分ニモ、其事ハ申シテ置キマシタガ、現在第二十四議會ニ於キマシテハ、請願委員會ニ於テ、請願委員會ハ法律案トシテ之ヲ此議場ニ提出致サレテ、婦人ヲ政談集會ニ會同セシメルト云フコトハ、殆ド大多數ヲ以テ此議場ヲ通過シテ居ルノデアリマス、又明治三十二年ニハ政府ガ治安警察法卽チ現行法ヲ提出シマシタル時分ニモ、時勢ノ進運ニ鑑ミテ此改正案ヲ提出スルト云フ理由ノ下ニ、此婦人ニヤハリ政談集會ニ會同セシメルト云フコトガ確カニ政府案ニアッタノデアリマスカラ、是等ノ經過カラ申シマシテモ、今日此婦人ニ政談集會ヲヨリ除外スルト云フコトハ、道理デアルマイト思フノデアリマス、況ヤ今日世界列國何レモ立憲國ト名ノ付イタ處ニ於キマシテ、婦人ノ此政治上ノ集會ニ會同スルコトヲ禁ジテ居ル處ハ何處ニモナイノデアリマス、唯千八百五十年ニ普魯西デ出來マシタル集會政社法ニ於テハ、政治上ニ婦人ノ會同ヲ禁ジテ居ッタノデアリマスガ、此官憲政治ノ本家本元タル獨逸ニ於テサヘモ、最近千九百八年ニ於テ此集會法ヲ改正ヲ致シテ、今日ハ婦人ノ會同ヲ許シテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク道理ノ上カラ申シマシテモ、事實ノ上カラ申シマシテモ、亦此衆議院ニ於ケル既往ノ經過カラ申シマシテモ、恐ラク是ニ對シテ反對ノ理由、反對ノ口實ハ少シモナイト私ハ思フノデアリマス、唯或ル一種ノ感情ニ囚ハレテ、反對ヲ逃ベラレルノデアリマスガ、其反對意見タルヤ極メテ薄弱ナルモノデ、唯或ル弊害ガ生ズルトカ、或ハ却テ婦人ノ墮落ヲ來ストカ云フヤウナ、誠ニ根據ノナキ誠ニ婦人ニ對シテ侮辱ヲ加ヘルトコロノ言葉ヲ以テ、是ニ反對ヲセラレルノデアルガ、而モ其根據ト云フモノハ何モ無イノデアル、デ吾ミハ最初提出致シマシタ案ヲ維持シテ、サウシテ之ヲ委員長ノ報告ニ對スル修正動議トシテ玆ニ提出ヲ致シタ次第デアリマス、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス（拍手起ル）

○副議長（關直彥君）　神藤才一君

（神藤才一君登壇）

（拍手起ル）

○神藤才一君　諸君、私ハ此議會ガ切迫致シマシタルニモ拘ラズ、此事ニ付キマシテ反對ヲセネバナラヌト云フコトガ私ノ意見デゴザイマス（「謹聽」ト呼フ者アリ）柄ニモナク（「ドウシテドウシテ」ト呼フ者アリ）併シ成ベク單簡十五分限リト斯ウ云フヤウニシマスカラ（「二十分デモ結構デスヨ」ト呼フ者アリ）御時計ヲドウカ御覽下サイマセ、併シヤジラレルトチト長クナルカモ知レマセヌカラ、ドウカ例ノ一流ダケヲ――併シ唯今村松君ハ最モ私ガ敬重スルトコロノ方デゴザイマス（笑聲起ル）然ルトコロガ、唯今人權ノ事カラ女子ヲ奴隷視スル如キニ至ル、卽チ是ニ反對スル者ハ女子ヲ奴隷ノヤウニスルノハ甚ダ不屆デアルト云フヤウナ――簡單カ詳イカ知リマセヌガ、先ツ其邊カラシテ――私ハサウデナク本員ハ最モ日本ノ女子ヲ尊敬シテ、向後倘倍〻尊敬セネバナラヌト云フトコロノコトヲ私ハ申述ベルコトデアル（「單簡」ト呼フ者アリ）横道ヘ入ラヌヤウ成ルベク單簡ニ……諸君、村松君及其他此案ニデス、御贊成ノ方卽チ第五條ノ女子政談演說會ニ會同及其發起人トナルコト、未成年者、是モ亦會同シ傍聽スルヲ得、此事ニ付テ私ガ反對スルノデアル、其他ハ委員會ニ於テ決議ニナッタコトニ言分ナク兩手ヲ擧ゲテ贊成致スノデアリマス、村松君及其他之ヲ御贊成爲サル方ミハ、政治ハ各人男子ニ離ルベカラザルトコロノ權利義務デアル、卽チ權利義務デアル、又義務公務デアルカラシテ、未成年者ニハ此政治思想智識ヲ與ヘ、之ヲ修養シテ成年ニナッタトキニハ、社會ノタメニ大ニ利益スル、又青年ノタメニハ其利益スルトコロデアル、又女子ニシテモ同斷ノ政治智識ヲ附與スルハ始終委員會ニ於テ申サレタ如ク、縣會議員衆議院議員ノ選擧ノ廓清上ニ於テ、是亦多大ナ利益ヲ與ヘルノデアルト云フコトヲ提出者ハ申サレテ居ッタノデアリマス、此故ニ普通學校ニ於テハ政治科學ヲ置イテ之ヲ其生徒ニ敎ヘテ居ル、「普通學校デサヘモ此ノ如シ、何ゾ政談公會場ニ是等ノモノヲ參會會同傍聽サセシメルトテ社會ニ決シテ害ガアラウ筈ハナイ、否害ナキノミナラズ多大ナ益ヲ社會ニ與ヘルノデアルト云フ論旨デゴザイマシタ、本員ハ決シテ然ラズ、諸君抑〻政治演說ハ主トシテ現在ノ時事ヲ論ズルヲ以テ其目的トナリマス、然ルニ普通學校ニテ敎ヘルトコロノモノハ、科學ハ、普通一般ノモノニシテ決シテ時事ヲ論ジ現在ヲ評スルモノニアラズ、卽チ千差萬別タル政略的ノモノニアラズ、之ヲ農事ニ譬ヘテ見マスレバ、普通學校ニテ敎ヘルトコロノモノハ、種蒔植付ノ時代卽チ修養時代デアル、然ルニ政談集會場ニ於テノ政談ハ、實リマシタルモノヲ嗜味嚙ミ分ケル時代、卽チ千差萬別ノ議論ヲ識別判斷スル極メテ紛雜ナル議論場デアル、此ノ如キ千差萬別ナル政策的議論ヲ未ダ其身體其智識、其行爲、其能力ノ完全セザル未成年者ニ會同傍聽爲サシムルハ、其生理上ヨリモ害アルトモ決シテ益ハナイノデアル（「村松恆一郞君未成年者ハ私ノ方デモ禁ジテ居ルノデアル」ト呼フ）イヤサウデハナイ――ア、サウデスカ（笑聲起ル）傍聽ハ――併ナガラ未成年者ハ――女子ダケデスカ、ソレナラ其事ハソレデ宜シイ（笑聲起ル）然ラバ是ヨリシテ極ク簡單ニ女子ノコトニ付テ私ハ論ジマス（「謹聽〻〻」ト呼フ者アリ）諸君、女子ニ唯今仰セラレマス通リ、政談智識ヲ附與セントスルハ、政談會ニ會同又之ヲ發起人タラシムルコト、之ヲ傍聽爲サシムルコト、此件ニ付テノ理由ハ短簡ニ述ベマスルガ、我國維新以來泰西ノ思潮ハ滔〻トシテ我敎育界ニ闖入シテ居ルノデアル、新舊思想ノ衝突激甚ニシテ殊ニ女子ノ敎育及女子ノ操守ニ關スル問題ノ如キハ、到ル所其聲ハ聞カザルコトハナイノデアリマス、其結果ハ一トシテ定案アルノデナイ、而シテ今ヤ新文明ト舊思想トハ各〻其弊害ヲ淘汰シテ、其善美ヲ融和セシメントノ傾向デアリマスゾ、殊ニ我國古來ノ家庭慣習トモ云フベキ女子ノ敎育及其家族制度ハ、世界文明諸國ノモノニ比シテ優ルトモ決シテ劣ルベカラザルトコロノモノデアル（「ヒヤ〳〵」ト呼フ者アリ）宜シウゴザイマスカ（笑聲起リ拍手スル者アリ）是ヨリ御悋シミデアルカモ知レマセヌガ、凡ソ婦人ノ婦人タル所以ハ女性トシテ天賦ノ德ヲ具ヘ最モ遺憾ナク其光明ヲ四圍ニ發揮スルモノデアル、是故ニ女子ハ當ニ專心一意婦人ニ必要ナル淑德ヲ修ムルヲ忘ルベカラザルモノデアルト私ハ言フノデアル（「ヒヤ〳〵」ト呼ヒ拍手スル者アリ笑聲起ル）諸君女性天賦ノ德トハ、婦人ノ此世ニ於テ其天賦ノ天職ヲ完ウスルガタメニ、通有セネバナラザル優シイ情性ニ伴フ總テノ善美ナル資質ヲ指スモノデアルノデアリマス（拍手笑聲起ル）卽チ其慈愛心ノ卓絶セルコト、溫和順良ニシテ同情ニ富メルコト、勘忍強クシテ謙讓恭勤ナル等ノ如キハ、女性天然ノ麗質中ニモ殊ニ其光彩ヲ四方ニ放ツモノデアル（「ヒヤ〳〵」笑聲起ル）此ノ如キ美德ヲ具フレバコソ、ソラ御覽ナサイ外ニアリテハ社會ノ花トモ謳ハレ（笑聲起ル）內ニアリテハ家族ノ王トモ敬ハレ、人類ノ幸福慶祉ヲ增進スルモノニシテ、若シ夫レ此ノ如キ美質ノ、女子ノ情ノ中カラ除カレタランニハ、婦人ノ未來ノ面目ヲ失ヒ、啻ニ世ヲ益スルコトナキノミナラズ、婦人自ラガ不幸ノ間ニ哀レ悲シキ一生ヲ終ルコトヽナルニ至ルノデアリマス（「ヒヤ〳〵」拍手スル者アリ笑聲起ル）諸君殊ニ――殊ニ諸君其過敏過情ニシテ動トモスレバ其常識ヲ失ヒ（此時發言スル者アリ）私ノ演說ハ脫線ハシナイ――動トモスルト其常識ヲ失ヒ、事ノ偏頗ニ流レ、其虛榮ニ走リ易クシテ其止マルトコロヲ知ラザルハ、是レ卽チ女子ノ性情デアリマセウヤ（「ヒヤ〳〵」拍手スル者アリ笑聲起ル）之ヲ以テ――之ヲ以テ古人ハ言ハズヤ――古人モ言ハズヤ女子ト小人ハ養ヒ難シト（「ヒヤ〳〵」拍手スル者アリ笑聲起ル）又俗言ニ女賢シウシテ牛賣リ損フトノコトデアル（拍手笑聲起ル）然レトモ村松君及ヒ論者ハ言ハン、然ラバ何故ニ歐洲文明諸國ハ勿論、我國ノ最高政治院、卽チ最高政治院タル貴衆兩院ニ女子ノ傍聽ヲ何故ニ許シ居ルカ（拍手起ル）何故ニ院外ノ政談集會ニ之ヲ許可セザルカ、其理由ノ矛盾モ甚ダシキモノニアラズヤトノ御言葉デアリマセウケレドモ、ソレハ是レ其所以ヲ知ラザル者ノ言デアルト私ハ思フノデアル（「謹聽〻〻」ト呼フ者アリ）抑〻女子其傍聽ノ由來ヲ單簡ニ御話申ス（「謹聽〻〻」「簡單〻〻」ト呼フ者アリ）諸君、私ガ久シク居リマシタトコロノ佛蘭西國、卽チ佛國ノ此女子ノ傍聽ヲ始メタコト、云フモノハ、政府委員ノ方モ御承知アルカナイカ知レマセヌガ（笑聲起ル）知ラナイト仰シヤッタ、是ハ卽チ佛國大革命ノトキニ始マッタンデアル、是等ノコトハ諸君ガ御承知デアリマセウガ、佛國ハ列國ノ大軍ニ迫ラレ、刀折レ矢盡キテ城下ノ盟ヲ殆ト蒙ラントセシトキニ方ッテ、此國ノ女子ハ軍ノ後方勤務ニ從事シテ、殆ド彈丸雨注ノ戰線ニ立働キ壯年男子ニモ優ル活動ヲ爲シテ、遂ニ今日ノ佛蘭西アルニ至ラシメタノデアル、當時同國女子ノ力與リテ多キニアッタノデアル、是ニ於テ彼ノ御承知ノ通リ「ベルサイユ」ノ「ジウホンム」ノ國民大會ヨリシテ――是ヨリシテ國民議會ハ開カレタノデアリマス、ソレデ當時列國ヲ引受ケタル男子ト共ニ、國家ノタメニ力ヲ盡シタルハ女子ナリ、其功トシテ女子ニ其ノ父、其ノ子、其ノ夫、其ノ兄弟等ガ凜〻タル皆サンノ如キ風彩デ國事ヲ議スルノヲ、唯御世辭的ニ御馳走的ニ之ヲ傍聽ナサシメタルハ是卽チ女子ガ議會傍聽ノ嚆矢卽チ始メデアリマス（拍手笑聲起ル）是ガ卽チ列國ニ餘波シテ今日ノ如クニ至ッタノデアル、然ルニ如何デゴザイマセウ、先程申シマス通リ、古人モ所謂女子ト小人ハ養ヒ難シトノ語ニ匹敵スルモノカシテ、現今村松君ナドガ人權擁護トカ、是ガ歐羅巴ノ流行スル女權擴張トカ、男女同權トカ、或ハ參政權トカ云フガ如キ途方モネ――女子ニモ――卽チ女子自然的其性質ニモ殊ニアルベカラザルコトヲ狂望卽チ狂ヒ願フニ至ッタノデアル、然レドモ諸君歐洲文明諸國ニ於テハ心アル敎育アル女子ノ前ニテ、喧嘩口論戰爭政治ノ話スルサヘ無禮ナリト愼ンデ居ルノデアリマス、然レドモ諸君英米兩國ノ女子界ニ於テハ男女同權ハ愚カ、女尊男卑ノ外形上ノ傾キガアリマスケレドモ、歐洲大陸ニ於テハ唯今申シマシタ通リ心アル敎育アル女子ハ、若シ女子ニシテ政治ニ加ハリ、又之ニ奔走スル者ガアルガ如キニ至ッテハ、卽チ彼ノ阿婆摺レオ轉婆的ノ行動ヲ爲スコトヲ聞イテハ、往〻眉ヲ顰メテ耳ヲ掩フニ至ルノデアリマス（「拍手笑聲起ル）諸君御承知ノ通リ彼ノ文界ノ女傑、又彼ノ「マダームスタエール」ノ如キ不世出ノ女丈夫ト雖モ、奈翁一

世ニ女子ノ天職ヲ說カレテ赤面シテ其本性ニ立歸リシトノコトデアル、況ヤ諸君世界無比ニ見ル日本女子固有ノ美風、卽チ慈愛心深クシテ溫和順良ニシテ同情ニ富ミ、堪忍強ウシテ謙遜恭儉ノ如キ天然ノ良質ヲ破壞シテ、女權擴張ノ本家本元タル歐洲ノ女子界ニテサヘ、眉ヲ顰メ耳ヲ掩フガ如キ阿婆摺レオ轉婆的ノ行爲行動ニ之ヲ陷ラシメントスルガ如キハ、實ニ村松君等ノ罪ノ深イモノヂヤト私ハ考ヘマス（拍手笑聲起ル）要スルニ遂ニ此ノ如キ阿婆摺レオ轉婆的ノ行動ニ陷ラシメントスルガ如キ、遂ニハ保元平治ノ常磐御前其者ナラズシテ大正時代ノ常磐御前ガ續々政談傍聽スルニ至ルヤモ測ラレヌノデアリマス（拍手笑聲起ル）卽チ赤子ヲ抱イテ兩手ニ子供ヲ連レテ而シテセヤ〳〵ノウ〳〵トカ、手ヲ引パタカレタラバドウデゴザイマセウ（笑聲起ル）若夫レ此ノ如クンバ、男ハ外、女ハ內卽チ男外女內、天地ノ大法分業ノ原則ヲ破壞スルモノデアルト私ハ思フノデアリマスル、ソレ故ニ此ノ如ク時日ノ切迫ニモ拘ラズ、私ノ申述ベタコトハ滿場ノ諸君ガ十分ニ神藤的ニ御贊成下サレマシテ、日本固有ノ美質アルトコロノ女子諸君ニ、何處マデモ日本ノ立派ナルトコロヲ輝カシテ、世界ニ誇ルヤウニドウカ御贊成ヲ願ヒタイ（拍手起ル）「贊成々々」ト呼フ者アリ）

○副議長（關直彥君）　他ニ通告モアリマセヌカラ……

○中村啓次郎君　討論モナイヤウデアリマスカラ、三讀會ヲ省略シテ……

○副議長（關直彥君）　イヤ決ヲ採リマス——採決致シマス、デ委員會ノ修正ニ對シテ村松恆一郎君ヨリノ修正ガ出テ居リマス、之ヲ採決致シマス——村松君ノ修正ニ贊成ノ諸君ハ起立

起立者　少數

○副議長（關直彥君）　少數デアリマス、委員會ノ說ニ御贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者　多數

○副議長（關直彥君）　多數デアリマス、委員長報告通リニ決定致シマシタ

○中村啓次郎君　三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ直チニ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

（「異議ナシ」「贊成々々」ト呼フ者アリ）

○副議長（關直彥君）　御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（關直彥君）　御異議ガナケレバ三讀會ヲ省略致シマシテ、委員長報告通リ確定ト云フコトニ決シマス

○中村啓次郎君　此場合ニ日程ヲ變更シテ農工銀行法中改正法律案、第一讀會ノ續委員長報告ヲ議題ニ供セラレンコトヲ望ミマス

（「贊成々々」ト呼フ者アリ）

○副議長（關直彥君）　中村君ノ日程變更ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（關直彥君）　御異議ガナイト認メマス、依テ農工銀行法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長西谷金藏君

農工銀行法中改正法律案（西谷金藏君外二名提出）第一讀會ノ續（委員長報告）

（西谷金藏君登壇）

○西谷金藏君　諸君、委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、此農工銀行法ノ改正ハ現行法ノ第一條第四條第五條此三條ニ付テ修正、若クバ削除致シマシタノデアリマス、委員會ハ此第一條ニ付キマシテハ、提案ハ株式ノ金額ハ二十圓トアルノヲ「五十圓以內」ト改メルトナッテ居リマシタノヲ、更ニ修正シテ「前項ノ株式金額ハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ五十圓迄ニ上スコトヲ得」斯ウ云フコトニ修正致シマシタ、是ハ第二十八議會ニ於テ旣ニ此通リニ本會ハ滿場一致ヲ以テ可決セラレマシタ案ニシテ、其理由ヲ更メテ申シマスレバ、農工銀行法ハ明治三十九年ノ發布ニシテ、爾來二十年經濟界ハ漸次膨脹シテ參リマシタノデ、最初ノ如ク株式金額ノ小サキニ失スルハ增資等ノ場合ニハ、往々不便ヲ感ズルコトガアルノデゴザイマス、又最初農工銀行ヲ拵ヘマシタ時ハ、其府縣ノ下ニ於テ極メテ零碎ノ資金ヲ集メテ銀行ヲ拵ヘマシタガ、漸次農工銀行ノ小サイ株主ガ減ッテ、今日ハ株式ハ段々大キク纏ッテ參ッタノデアリマス、此故ニ增資ヲセラルヽ場合ニ於テ、大藏大臣ノ認可ヲ受ケテ、之ヲ五十圓迄進ムコトハ却テ增資ノタメ便利ヲ得ルト云フノデ、此ノ如キ改正ヲ致シマシタ、是ニハ政府ハ無論異論ノナイ所デ、其次ハ第四條デ、第四條ノ現行法ハ「農工銀行ノ營業區域內ニ住所ヲ有スルモノニアラサレハ其株主タルコトヲ得ス、株主ニシテ農工銀行ノ營業區域外ニ住所ヲ移轉スルコトアルモ株主タルノ資格ヲ失フコトナシ」此條ヲ削除致シマシタノデゴザイマス、更ニソレニ換ヘルニ第四條「農工銀行ノ取締役及監査役ハ農工銀行ノ營業區域內ニ住所ヲ有スルコトヲ要ス斯ウ云フ條ニ換ヘタイノデアリマス、是ハ二十七議會ニ政府ガ此第四條削除ノ提案ヲセラレマシタガ、當時本院ハ時期尙早シトシテ局部ノ改正ヲシテ兩院ノ通過ヲ見マシタ次第デゴザイマスガ、爾來經濟界ノ發展ニ伴ヒ、又現在各地ノ農工銀行ノ資金ガ潤澤ナラズシテ、此ノ如キ改正ヲ要スルノ必要ヲ認メタノデ、農工銀行ハ御承知ノ通リ、當リ前ノ株式資本ノ他多クノ場合ハ、債券ノ募集ニ依テ營業シテ居ルノデアリマスガ、此農工銀行ノ親銀行タル勸業銀行ガ、農工銀行ノ債券ノ多クハ引受ケベキモノニモ拘ラズ、勸業銀行ニ於テ之ヲ引受ケルコトヲ得ズ、又二三年前大藏省ノ預金局ヨリ農工債券ニ應ズルコトニナッテ居リマシタガ、近時預金部ノ金ガ段々減ッテ參リマスト同時ニ、農工銀行ノ債券ニ應ズルコトガ出來ナクナッテ參リマシタノデアリマス、ソコデ農工銀行ノ近時ノ債券ハ大抵年七朱手取九十八圓乃至九十五圓位マデニナッタノデ、初メハ六朱以內デ募集シツヽアッタモノガ、今日ハ七朱ニ利子ガナルト同時ニ、更ニ手取リノ金ハ九十五圓位ヲ以テ募集セザルヲ得ヌヤウナコトニナリマシタニ付テハ、從テ株主ノ制限ヲ解キ、地方共通ノ途ヲ開クノ必要ヲ認メマシタタメ、此農工銀行ノ株主タル住所ノ制限ヲ撤廢シ、若シ此住所ノ制限ヲ撤廢シタル場合ニ於テハ、或ハ弊害ガ起リハシナイカ、田舍ノ農工銀行ニ向ッテ中央ノ資本家ガ出テ參ッテ、或ハ地方ノ農工銀行ノ基礎ヲ危ウスルヤウナコトガアリハシナイカト云フ心配ノ御方モアリ、政府又此感ヲ持タルヽガ故ニ、第四條ノ現行法ヲ削除スルト同時ニ其府縣ニ住所ヲ有スル者ニアラザレバ、取締役及監査役ニナルコトガ出來ヌト云フコトニシテ、其弊ヲ避ケルコトヲ致シマシタ、ソレカラ其次ニ第五條、第五條ハ現行法ハ「第五條農工銀行ノ營業區域ノ府縣郡市町村モ亦其株主タルコトヲ得」斯ウアル、之ニ此第五條中「府縣郡市町村」ノ下ニ「及市制第六條ノ規定ニ依リ指定セラレタル市ノ區」此二十二字ヲ挿入スルノデアリマス、是ハ東京市ニ於ケル區ノ如キモノガ株主タルコトヲ得ナイカラ、之ニ株主ノ特權ヲ與フルコトハ極メテ必要デアラウト云フ議論デアリマス、以上申上ゲマシタ通リ修正ヲ致シマシタガ、委員會ハ二回開キ、此案ニ對シテハ各派ニ於テ議論ガ無イノミナラズ、政府ニ於テモ滿足ニ同意サレマシタ、ドウゾ御審議ノ上此通リニ御決議アランコトヲ切望致シマス

（「贊成々々」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　別ニ御發議モアリマセヌカラ採決致シマス、本案ヲ第二讀會ヲ開クベシト云フ說ニ御異議ガアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　御異議ナイト認メマス

○中村啓次郎君　直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長（關直彥君）　中村君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（關直彥君）　御異議ナシト認メマス、依テ直ニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通リ確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

農工銀行法中改正法律案

第二讀會（確定議）

○副議長（關直彥君）　御異議ナシト認メマス、依テ本案ハ委員長ノ報告通リ決定致シマシタ

日程變更ノ緊急動議

○中村啓次郎君　此場合日程ヲ變更シ、府縣制中改正法律案ノ第一讀會ノ續委員長報告ヲ議題ニ供セラレンコトヲ望ミマス

（「贊成々々」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　中村君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（關直彥君）　御異議ナシト認メマス、依テ日程ヲ變更シ、府縣制中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長植場平君

府縣制中改正法律案（政府提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

（植場平君登壇）

○植場平君　府縣制中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、御承知ノ通リ本案ハ修正ガ餘程澤山アリマシタノニ、數回委員會ヲ開キマシテ質問應答及討論ニ委員諸君ハ非常ニ力メラレタノデアリマス、殊ニ一日ハ速記ヲ用ヰズシテ協議會ヲ開キマシテマデ審議ヲ致シタノデアリマス、其結果御手許ニ差上ゲテゴザイマスル通リ、修正可決スベキモノナリト決定ヲ致シタノデアリマス、其修正ノ内容ニ付テ御報告致シマス、委員會デ修正ヲ致シマシタノガ第七條ノ二項ヲ左ノ如ク改ム「議員ノ任期ハ四年トシ總選擧ノ日ヨリ之ヲ起算ス」ト改メタノデアリマス、是ハ任期ノ計算ヲ明確ニスル、斯ウ云フ意味ノ上ニ於テ修正ヲ致シタノデゴザイマシタ他ニ深イ意味ノアル譯デハゴザイマセヌ、ソレカラ十二條「五日」トアルヲ「七日」ト改メタノデゴザイマス、是モ極メテ簡單ナ意味デ、府縣知事市町村長等ニ告示ノ餘裕ヲ十分ニ與ヘタイト云フノデ、ソレデ五ヲ七ニ改メマシタ次第デアリマス、ソレカラ其次ハ四十八條デアリマス、四十八條ニ付テ誤植ガアリマスカラシテ此場合ニ御訂正ヲ願ッテ置キタイト思フ、四十八條ニ御手許ニ差上ゲテゴザイマス案ニハ「議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ、議長副議長共ニ故障アルトキハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齡同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フノヲ全部消シテアリマス、是ガ間違ッテ居ルノデアリマス、ソレデ委員會ニ於テ修正ヲ致シマシタノハ斯樣ニナッテ居ルノデアリマス「議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議長ヲ選擧スヘシ」ト云フ文字ニ修正ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ横ニ以テ參ッテ小サナ字デ四十八條ノ下ニ「左ノ一項ヲ加フ」ト云フ文字ガ是ガ全部削ラレナケレバナラヌノデアルノニ、斯ウ云フモノガ入ッテ居ルノデゴザイマスカラ、之ヲ御改メヲ願ヒタイ、デ本案ヲ斯ノ如ク修正ヲ致シマシタノハ、委員會ニ於テハ種々ナル御心配ト御議論ガゴザイマシタタメニ、斯ク致シタノデゴザイマスガ、其一端ヲ御報告申シマスレバ、近頃府縣會ニ種々ナル弊害ガゴザイマシテ、多數黨少數黨ノ爭ノ起ルコト屢々デ、其場合ニ今日ノ法律即チ府縣制デハ制スルノ道ガナイ、故ニ何トカシテ之ヲ制スルノ良法ヲ案出シタイト云フコトデ、イロ〳〵御攻究研究ヲ盡サレマシタ上デ、唯今申シマシタヤウニ修正ヲ致シマスレバ、是レデ大抵ヤリ得ラレルダラウ、多數黨ガ少數黨ヲ壓スルトカ、少數黨ガ多數黨ノタメニ壓セラレルトカ云フヤウナコトノナイヤウニナリ得ラレルダラウト云フノデ、唯今申上ゲマシタヤウニ修正ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ其次ハ五十五條デアリマス、五十五條ノ修正ハ五十五條中「選擧ヲ行フトキハ」ノ下ニ「本法中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外」ト云フ文字ヲ加ヘマシタ「匿名投票」ト云フ文字ヲ「無記名投票」ト改メマシタノデアリマス、匿名ヲ無記名ニ改メタト云フコトハ別段ヒドイ意味ガ變ッテ居ルコトデナイノデアリマスガ、斯ク改メル方ガ宜カラウト云フノデ改メマシタノデアリマス、次ハ五十七條デアリマス、五十七條ノ改正案カラ見マスレバ、第二項ニナッテ居ルノデス、其二項ノ「前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ」ノ下ヘ「議長ハ」ト云フ文字ヲ加ヘマシテ「議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス」此修正モ四十八條ノ修正ト同樣ノ意味ノ上ニ於テ、斯ノ如ク修正ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ六十六條中「名譽職參事會員及其ノ補充員ハ毎年之ヲ選擧スヘシ」ト修正致シマシタ、是ハ政府ノ提出案ハ「名譽職參事會員及其ノ補充員ノ任期ハ一年トス」トナッテ居リマシタカラデス、之ニ付テイロ〳〵研究モ致シテ見タノデアリマスガ、此一年ト云フコトニ任期ヲ定メテ置キマスト、改選ノ場合ニ於テ非常ニ困難ナ事ガ生シテ、或ハ一年以上務ムル者モアリ八箇月位デ交代ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトニモナルデアラウ、サウ云フコトヲ成ルベク避ケタイト云フ考カラ、委員中皆サンノ御研究ノ結果之ヲ一年トセズシテ、每年選擧スベシト云フコトニ改メテ、サウシテ通常府縣會ノ時ニ於テ改選ヲ行フト云フコトニナレバ、是デ大抵滿足ニ行ヒ得ラレルダラウ、斯ウ云フヤウナ意味カラ此ノ如ク修正ヲ致シタノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ六十六條ノ中デ「名譽職參事會員ハ後任者就任ノ前日マデ在任ス」府縣會議員ノ任期滿了シタルトキ亦同シ」斯ウ云フコトヲ加ヘマシタノデアリマス、斯ウ云フコトニ修正ヲ致シマスレバ、大抵各府縣ニ於テ皆サンガ御心配ニナッテ居ルコトヲ救ヒ得ラレルデアラウト云フノデ、斯ウ修正ヲ致シマシテ、而シテ唯今御報告致シマシタ外ハ、全部政府ノ提出案ニ同意ヲ致スコトニナリマシタノデアリマス、尙玆ニ一言申上ゲテ置キマスルガ、參事會員ノ任期ニ付キマシテハ、同志會ノ委員諸君ノ中カラヤハリ現行ノ如ク四年ト云フコトニシタイト云フ御修正ノ動議ガ出マシタノデス、是ハ極メテ少數デゴザイマシテ成立ハ致シマセヌ、此事ニ付キマシテハ、討論ニ移リマシタ場合ニ此御修正デモ出ルコトニナルノデアラウト考ヘテ居リマスカラ、詳シイコトハ申上ゲマセヌ、ソレデ併セテ此場合一言致シテ置キタイノハ、委員中殆ド一致ノ意見デアッタノデゴザイマスガ、府縣會議員ハ府縣ノ豫算ヲ議定スルノ權能ヲ有スル者デアルカラ、府縣費ヲ負擔スル者ニ對シテハ選擧ノ資格ヲ與ヘタイ、斯ウ云フ御意見ガ出タノデアリマス、ソレ故ニ何レニカ此意味ヲ以テ法律ニ修正ヲ加ヘテ實行シタイモノデアルト云フ御意見モ出タノデアリマスガ、理想トシテハ一人ノ異議者モナカッタノデゴザイマスケレドモ、之ヲ實行スル上ニ於テ頗ル手數ヲ要シ、困難ナコトデアラウ、故ニ此問題ハモウ少シク研究ヲシテハ如何デアラウカト云フ御說ガアッテ、尙政府ノ意嚮モ確メタノデアリマスガ、政府ニ於テモ委員諸君ト同樣ニ、理想トシテハ誠ニ左樣アルベキコト、思フケレドモ、之ヲ實行スル上ニ於テ非常ナル困難ナコトニナルカモ知レヌト思フカラ、少シ研究ヲ致シテ見タイト云フコトヲ答ヘラレタノデアリマス、ソレデ政府ニ望ミマスルノハ、成ルベク研究ヲ盡サレテ速ニ實行ノ域ニ進メテ貰ヒタイト云フコトヲ委員中ヨリ申サレタ譯デアリマシタ、今一ツハ府縣知事ガ豫算ヲ執行スル

場合ニ當ッテ、或ハ土木其他ノ事業ヲ補助スル場合ニ當ッテ、規定ヲ無視シ勝手ニ補助スル、例ヘバ補助道路ノ階級ヲ變更シタリ、補助額ヲ改メタリ、往々ニシテ誠ニ不都合ナコトガ澤山アル、故ニ之ヲ制セナケレバ府縣ノ費用ヲシテ漫然ニ支出シ事業ヲ實行シ得ザルノ嫌ガアルカラシテ、之ニ對シテハ政府ガ何トカ適當ノ途ヲ講ゼラレテ、左樣ナ專橫ノ處置ニ出デザランコトヲ望ムト云フヤウナ御意見モ出テ、是モ委員中ニハ更ニ御異議ガナカッタ、而シテ政府ノ意嚮ヲ確メマシテ、政府ノ宣明ヲ承ッタノデアリマス、政府ハ之ニ對シテ、ソレハ全ク府縣知事ガ執行ノ方法ヲ誤ッテ居ルノデアラウト思フカラシテ、ソレ等ニ對シテハ適當ノ處置ヲ執ルコトニ致ス、斯ウ云フ宣明ヲ承ッタノデアリマス、之ヲ附加ヘテ御報告ヲ致シテ置キマス、唯今御報告ヲ申上ゲマシタ府縣制改正案ノ修正ニ對シマシテハ、政府ハ同意ヲ表シテ居リマスルカラ、此場合御審議ノ上速ニ御決定アランコトヲ希望致シマス

（「名譽職參事會ノコトハ變ラヌノデスカ」ト呼フ者アリ）

○松城兵作君　チヨット委員長ニ質問致シタイ、唯今四十八條ノ修正ニ付テ委員長ヨリ御報告ガアリマシガ「臨時ニ議員中ヨリ」ト委員會デハ修正サレタヤウニ思ヒマス、尚ホ六十五條中ノ「八名」ヲ「十名」ニ「六名」ヲ「七名」ニ委員會デハ修正ニナッテ居リマスガ、是ハ或ハ報告漏デアラウト思ヒマスカラ、チヨット伺ヒマス

○植場平君　今一應願ヒマス

○松城兵作君　四十八條ニ修正ガアリマシテ「議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選擧スヘシ」ト云フコトニナッテ居リマス、委員長ノ先刻ノ御報告ニハ「臨時ニ議員中ヨリ」ト云フ報告ガ無カッタヤウデス、モウ一ッ六十五條中「八名」ヲ「十名」ニ「六名」ヲ「七名」ニ改メルコトニ修正ニナッテ居リマス、此點ヲ御報告ヲ願ヒタイ

○植場平君　松城君ノ御注意ニ依テ漏レテ居ルコトヲ發見致シマシタ、更ニ改メテ漏レテ居ル所ヲ申上ゲマス、四十八條ハ唯今松城君ノ仰セラレタヤウニ、即チ議員中ヨリ臨時ニ議長ヲ選擧スルト云フコトニナリマス、ソレカラ六十五條府縣參事會員ノ數、現今府ニ於テハ八名トナッテ居ル、之ヲ十名、ソレカラ縣ニ於キマシテハ六名、之ヲ七名ニ增加スル、是ハ一言致シテ置キマスガ、從來ノ議員ニ依リマスト參事會ノ——御承知ノ通リ參事會員ハ名譽職參事會員ト高等官ノ即チ參事會員デ列席セラルヽモノヲ以テ組織シテ居ルノデアリマシテ、從來ノ如ク違記ヲ以テ參事會員ヲ選擧致シマス場合ニハ、或ハ此弊モナイカモ知レマセヌガ、今度ノ改正ニナリマスト、選擧ハ單記ニナルノデゴザイマスカラ、即チ少數意見ヲ代表スル議員ヲ參事會員ニ出シ得ルノデアリマスカラ、其時ニ若モ從來ノ數デアルトスルナラバ、六名ノ中二名ハ少數ヲ代表スル方カラ出シ、四名ハ多數黨カラ出ルト云フコトニナルト、其少數者ハイツモ府縣ノ高等官ト一致シテ、總テ案ヲ議スルノ場合ニ臨ムト云フコトガアリマセヌカ、甚ダ其弊ヲ生ズルコト大ナリトスル所ヨリ、或ハ高等官一名ヲ減ジテ、其權衡ヲ保タシムルカ、若クハ議員ヲ增加シテ、其權衡ヲ保タシムルカト云フコトニ付テハ、餘程研究モ致シ、政府トモ折衝致シテ、其結果參事會員ヲ增加シテ以テ其心配ヲ解キ得ルヤウニ致シタイ、斯ウ云フコトガ最モ此修正ノ大ナル趣意ニナッテ居ルノデアリマス、併セテ御報告申シマス、曩キニ漏レマシタ粗忽ヲ御詫致シマス

○松田源治君　本員ハ政府委員ニチヨット質問致シタイト思ヒマスガ、此府縣制ノ法律案ハ、今日マデ數回起リタル疑義ニ付テ、解釋ノ規定等モ新タニ設ケマシテ、餘程宜クナッテ居ルノデアリマス、然ルニ現ニ府縣會ニ於テ、府縣會議長ハ表決權ト採決權ト二票有スルヤ否ヤニ付テハ、全國ノ府縣會ニ於テ紛議ガ起ルノデアリマス、或者ハ表決權ハ無イ採決權ノミデアルト云フ說ヲ取ルモノモアル、議長ハ議員トシテノ投票即チ表決權ト採決權ト二票アルト云フコトヲ唱ヘル人モアルノデアリマス、斯カル事ハ此府縣制ノ條文ヲ整理スル場合ニ、外國等ノ例ニ依リマシテ議長ハ議員トシテハ表決權ガアリ、議長トシテハ採決權ガアルト云フコトヲ明カニ規定シテ、今日マデ起リタル紛議ヲ解決スル必要ガナイカドウデアルカト云フコト、又斯カル事ヲ條文ニ揭ゲズトモ現行ノ府縣制ニ依テ、議長ハ表決權ト採決權ト二票アルト云フコトヲ內務省當局ハ解釋ヲ取ッテ居ルノデアルカ、ドウデアルカ、此點ヲ明確ニ伺ヒタイノデアリマス

（政府委員（法學博士水野錬太郎君）登壇）

○政府委員（法學博士水野錬太郎君）　唯今松田君ノ御問ニ御答致シマス、內務省ニ於キマシテハ、議長ハ表決權ト採決權トノ二樣ノ權利ヲ持ッテ居ルト云フ解釋ヲシテ居ルノデアリマス、而シテ此度ノ府縣制中ニ特ニ之ヲ明記シナカッタノハ、從來ノ解釋ヲ以テ明瞭ナリト信ジテ居ッタ所以デアリマス、ソレトモウ一ツハ獨リ府縣制ノ問題ノミナラズ、郡制市町村制其他ノ會議體ニ於キマシテモ、皆同一ノ問題ヲ惹起スノデアリマス、而シテ一ノ法律ニ於テ其事ヲ明記シテ置イテ、他ノ法律ニ於テ之ヲ明記セザルトキハ、却テ疑義ヲ生ズル虞アリト考ヘマシタノト、先程申シマシタ通リ解釋論トシテハ疑ヒナイコトヽ考ヘテ居リマス、從來其通リノ取扱ヲナシテ居リマス、故ニ府縣制ニ於テ此場合此點ニ付テハ、規定ヲ別ニ設ケナカッタ次第デアリマス

○副議長（關直彥君）　他ニ御質問ガアリマセヌケレバ、第二讀會ヲ開クヤ否ヤニ付テ決ヲ採リマス——第二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　御異議ハナイト認メマス、依テ第二讀會ヲ開クベシト云フニ決定致シマシタ

○中村啓次郎君　直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

（「贊成々々」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　中村君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　御異議ナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス——全部ヲ議題ト致シマス、國光五郎君ノ修正動議ガ提出ニナッテ居リマス——國光五郎君

第二讀會（確定議）

府縣制中改正法律案

（國光五郎君登壇）

○國光五郎君　諸君、府縣制ノ改正案ニ付キマシテ、委員會ニ於テ吾ミ同志ノ主張致シマシタ、修正箇條ノ中ニ付テ、不幸ニシテ他ノ委員諸君ト意見ヲ異ニシテ居リマス點ガ二ツアルノデアリマス、ソレハ改正案ノ骨子眼目トモ申スベキ點デアリマスカラ、此處ニ其二點ヲ修正案トシテ提出致シマシタ、其理由ヲ說明シテ諸君ノ御考慮ヲ煩ハシタイト思ヒマス、第一ハ改正案ノ六十六條ノ第五項ニ對スル修正デアリマス、名譽職參事會員及其補充員ノ任期ハ一年トストアリマスノヲ、名譽職參事會員及其補充員ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル、斯ウ修正ヲスルノデアリマス、六十六條ノ改正ハ今回ノ改正ノ中デ最モ重大ナル事項ノ一デアリマス、現行法ニ於ケル連記投票ノ說ヲ捨テマシテ、單記投票ノ說ヲ用ヒ、又名譽職參事會員ノ任期ハ從來四箇年デアッタモノヲ、一箇年ニ短縮スルト云フ二點ガ、此六十六條ノ改正ノ主タル點デアリマス、前段ノ單記投票ニ改メルト云フ點ニ付テハ、私共モ洵ニ至當ナル改正トシテ贊成ヲスルトコロデアリマスガ、後段ノ點ニ付テ即チ任期ヲ一箇年ニ短縮スルト云フ點ニ付テハ、寧ロ現行法ノ儘ヲ維持スル方ガ優レルモノデアルト信ズルノデアリマス、改正ノ要旨ヲ伺ッテ見マスト、何等理論上ノ根據ノナイト云フコトハ申スマデモナイ、唯、其趣旨トスルトコロハ名譽職參事會員ノ任期ガ餘リ長キニ過ギル、隨テ私約交代等ノ弊ガ行ハレテ居ル、此弊害ヲ救濟シナケレバナラヌト云フコトガ、此改正ノ趣旨ニナッテ居ルノデアリマス、吾ミモサウ云フ弊害ノ行ハレテ居ルト云フコトハ固ヨリ承知致シテ居ルノデアリマスガ、併ナガ

ラ其私約交代ノ如キ弊害ヲ除クコトニ付テハ、固ヨリ同感デアリマス、併ナガラソレガ爲メニ任期ヲ一箇年ニ短縮シテ新タニ私約交代等ノ弊害ヨリモ更ニ大ナル弊害ヲ生ズルト云フコトハ、豫メ考慮セネバナラヌ事ト思ヒマス、元來地方ノ自治ノ上カラ見マシテ、選擧程弊害ノ伴ッテ居ルモノハ無イノデアリマス、內務省式ハ地方廳ニ於テ地方改良ノ爲メニ、或ハ講習デアルトカ、講演デアルトカ云フモノヲ開イテ、地方改良ノ爲メニ種々努力サレルノデアリマスガ、其努力ノ一半ハ一回ノ選擧ヲ以テ奪去ラル、コトガ動モスレバアルト云フコトハ、吾々ガ實際ニ於テ見聞スル所デアリマス、隨ッテ選擧ノ度數ハ、地方ノ自治ノ上カラ見マシテモ、成ルベク其數ヲ寧ロ少ナクスル方ガ、自治ノ發達ヲ圖ル上ニ於テ必要ナ事デアルト信ズルノデアリマス、今此四箇年ノ任期ヲ一箇年ニ短縮シテ、ソレニ依テ私約交代ナドト云フ現在ノ弊害ヲ除去スルコトハ出來マセウガ、每年選擧スル度每ニイロ〳〵ナ混雜ヲ惹起シ、イロ〳〵ノ紛擾ヲ起シテ、ソレガ爲メニ地方ノ自治ニ惡影響ヲ及ボシ、種々ナ弊害ヲ釀スト云フコトハ、寧ロ一箇年ニ短縮シタ爲メニ起ル弊害ノ方ガ、現狀ト比較シタラ重イト云フコトヲ本員ハ信ズルノデアリマス、又此規定ヲ實際ニ實行スル上ニ於キマシテ、先程委員長モ御報告ニナリマシタガ、實行上種々ノ不都合ナルコトヲ生ズルノデアリマス、御承知ノ通リ總選擧ハ多クハ九月デアリマス、通常府縣會ノ會期ハ多ク十一月以後デアリマス、サウシマスルト此一箇年ト云フ規定ヲ嚴格ニ實行シテ行キマスガタメニハ、每年臨時縣會ヲ開クト云フコトハ、經費ノ上カラ申シ手數ノ上カラ申シテ、實際ニ行ハレ得ベキ事デハナイト思ヒマス、此點ハ政府ニ於テモ認メテ居ラル、所デアリマス、隨ッテ通常縣會ニ於テ之ヲ選擧スルト云フコトニ實際ノ上ニハ計ッテ行カナケレバナラヌノデアリマス、サウシマスルト先程委員長ノ御報告ニナリマシタ通リ、總選擧後第一年ニ就任シマシタ名譽職參事會員ノ任期ハ、當然一箇年ノ餘一箇月若クハ二箇月多ク在任スルト云フ結果ニナリ、最後ノ年ニ就任シタ四年目ニ就任シタ參事會員ノ任期ハ、當然十箇月若クハ十一箇月ト云フ一箇年未滿ノモノト相成ルト云フ結果ニナルノデアリマス、法ヲ制定スル上ニ於テ豫メ最初一箇年ト規定シツツ、之ヲ實行スル上ニ於テハ一箇年未滿若クハ一箇年以上ニナルト云フコトヲ豫想シツツ制定スルト云フコトハ、是ハ法ノ缺點デアルト申サナケレバナラヌト思ヒマス、殊ニ此實際實行シマスル上ノ不便ハ、島根縣デアルトカ、或ハ佐賀縣デアルトカ云フ風ナ解散ノアッタガ爲メニ、總選擧ノ時期ガ普通ノ府縣ト異ッテ居ル所ニ於テハ、殊ニ甚シイデアリマス、例ヘバ佐賀縣ノ如キハ二月ガ總選擧ノ時期デアリマス、隨ッテ總選擧後第一年ニ就任シタ所ノ參事會員ノ任期ハ翌年ノ三月ヲ以テ滿了致スノデアリマス、隨ッテ其次ニ就任スベキ名譽職參事會員ノ選擧ハ、次ノ通常縣會ノ開ケルマデ待ツト云フ譯ニ參リマセヌ、殆ド八箇月ニ亙ルノデアリマス、餘リニ長イノデアリマス、隨ッテ佐賀縣ノ如キニ於キマシテハ、每年之ガ爲メニ臨時縣會ヲ開カネバナラヌト云フ結果ニ相成リ、此臨時縣會ヲ開クト云フコトヲ避ケルガ爲メニハ、前年ノ通常縣會ニ於テ豫メ名譽職參事會員ヲ選擧シテ置クト云フコトニナケレバナラヌ、併ナガラ今名譽職參事會員ガ實際アルニモ拘ラズ、新タニ二箇月モ四箇月モ後ニ就任スベキ參事會員ヲ豫メ選擧シテ置クト云フコトハ、是ハ法文ノ解釋上許スベキ事デハナイト思ヒマス、選擧ノ效力ガ其選擧シタ當時ニ發生セズシテ、二箇月モ四箇月モ經ッテ後ニ其法律上ノ效力ヲ生ズルト云フコトヲ認メルコトハ、此府縣制ノ解釋上許スベキ事デハナイト思ヒマス、サウスレバドウシテモ臨時縣會ヲ開クト云フコトハ、佐賀縣ノ如キモノニ於テハ當然ノ結果ニ相成ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ此任期ヲ一箇年ニ短縮スルト云フコトニ於キマシテハ、其改正ノ趣旨カラ申シマシテモ、亦實行上不都合ノ點カラ申シマシテモ、斯ウ云フ制ヲ見合セテ、寧ロ現行ノ四箇年ノ議ノ任期ニ依ルト云フ制ヲ維持シタ方ガ然ルベキ事ト信ズルノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ「任期ハ一年トス」ト云フコトヲ「每年之ヲ選擧スヘシ」ト云フコトニ修正ニナッタノデアリマス、併ナガラ先程ノ委員長ノ報告ニナリマシタ通リ、通常府縣會ノ會期ヲ待ッテ其選擧ヲ致スノデアリマスレバ、ヤハリ任期ノ上ニ於テ或參事會員ハ一箇年以上在任スルシ、或參事會員ハ一箇年未滿當然在任スルト云フ結果ニ相成ルト云フ點ニ於テハ、少シモ異ル所ハ無イノデ、私ハ此任期ヲ一箇年トスト云フコトニ對スル反對ノ意味ヲ通ジテ、此「每年之ヲ選擧スヘシ」ト云フ修正案ニモ向ケテ反對致シタイト思フノデアリマス、是ガ修正ノ第一點デアリマス、次ニハ第二トシマシテ改正案ノ八十二條中「法律命令」ノ下ニ「若ハ會議規」ヲ加フ、此文字ヲ削除スルノ修正デアリマス、現在ニ於キマシテハ、府縣會若ハ府縣參事會員ノ選擧、若クハ議決ガ法律命令ニ違反スルモノト認メタ場合ニハ、府縣知事ガ自己ノ意見ニ依リ、若クハ內務大臣ノ指揮ニ依テ、其選擧若クハ議決ヲ取消スコトガ出來ルト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ更ニ會議規則ノ違反ト認メル場合ニモ、同一ノ權能ヲ府縣知事ニ與フルト云フ政府ノ改正案ノ趣旨デアリマス、是ハ會議規則ノ本質ノ上カラ申シテ私ハ甚ダ失當ナル改正デアルト信ズルノデアリマス、大體會議規則ハ府縣制ノ六十四條ニ依リマシテ、府縣會ガ自己ノ權能ニ依テ設ケタ所ノ規則デアリマス、唯ソレガ法律上ノ效力ヲ生ズルガ爲ニ、內務大臣ノ許可ヲ受ルコトヲ要スルニ過ギナイノデアリマス、從ッテ此會議規則ノ解釋權ト云フモノハ、主トシテ府縣會ソレ自體ニ在ルノデアルト云フコトハ、會議規則設定ノ上カラ申シテ疑ノナイコト、而モ府縣知事ガ自己ノ意見ノミニ依テ內務大臣ノ指揮ヲ仰ガズ、更ニ府縣會ニ注意ヲ與ヘズシテ、唯會規則ニ違反シテ居ルノデハナイカト云フコトヲ認メタカラト云ッテ、直チニ其選擧若クハ議決ヲ取消スト云フコトハ、府縣會ノ權能ヲ無視シ、其解釋權ヲ蔑如シタル所ノモノデアルト思ヒマス、內務大臣ハ勿論許可權ヲ有ッテ居ルノデアリマスルカラ、內務大臣ノ指揮ニ依テ其選擧若クハ議決ヲ取消スト云フコトハ、是ハ內務大臣ノ許可權ノ上カラ然ルベキコトデアルト思ヒマスガ、府縣知事ハ會議規則ノ設定ニハ何等與カル所ガ無イノデアル、法制ノ上ニ於テ實體上何等ノ關係ヲ有ッテ居ラズシテ、而モ府縣會ノ解釋ヲ無視シテ、自ラ自己ノ意見ニ依テ直チニ其選擧若クハ議決ヲ取消スト云フコトハ、此會議規則ノ本旨ノ上カラ申シマシテ、許スベキモノデナイト本員ハ信ズルノデアリマス、此二ツノ……（「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ）モウ止メマス、此二ツノ修正案ヲ提出致シマス、諸君ノ考慮ヲ煩ハシ、相成ベクハ御贊成アランコトヲ希望致シマス（拍手起ル）

○副議長（關直彥君）　久保通猷君

（久保通猷君登壇）

○久保通猷君　私ハ委員ノ一人ト致シマシテ、委員長報告ノ通リ委員會ノ決議ニ加ハッタ者デゴザイマス、唯今國光君ヨリ修正ノ意見ヲ御提出ニナリマシタガ、第八十六條ノ從來ノ四箇年ノ年期ヲ一箇年トスルコトハ甚ダ宜シカラヌト云フ御意見デゴザイマス、併ナガラ國光君モ參事會員ガ私約交代等ノ弊害ノアルコトハ御認メニナッテ居ルノデゴザイマス、既ニ此弊害ガアリトスレバ、其弊害ヲ防グダケノ相當ノ方法ヲ講ゼネバナラヌノデゴザイマス、國光君ハ單ニサウ云フヤウナ事ハ甚ダ宜シクナイ、喩ヘテ見レバ長ク在任スル方ガ事情ガ分ッテ宜シイ、又一箇年ノ年期トスレバ、最初ニ勤メル者ト最終ニ勤メル者トノ期限ニ長短ガアル、又島根縣佐賀縣ノ如キ解釋ヲシテ、更ニ選擧シタ府縣ニ對シテハ、取扱上差支ガアルト云フヤウナ御言葉デゴザイマシタガ、物ニハ必ズ一利一害之ニ伴ヒマスル、故ニ如何ニスル方ガ利益デアルカ、弊害ガ防ガレルデアルカト云フコトヲ考ヘテ、實地ニ適應スルヤウナ立法ヲスルノガ卽チ吾々ノ責任デアルト考ヘマス、國光君ハ長ク地方ノ參事官事務官トシテ實地ニ御當リニナッタ方デゴザイマスルガ、徒ニ形式上ニ流レル論ノミニ走ッテ、實際上ノ弊害ヲ防グ方法ハ如何ニシテ講ズルカト云フヤウナ御

意見ハ御提供ニナラヌ、卽チ無責任ノ御議論ヲナサルノハ私ガ親友トシテ甚ダ敬服シナイ所デゴザイマス、次ニ會議規則ニ背イタ所ノ選擧ヲ府縣知事ガ取消スト云フノハ、府縣會ノ權能ヲ蹂躙シタ處分デアルト云フ御說デゴザイマス、一應御尤デハゴザイマスルガ、此府縣會ノ選擧ナルモノハ、黨爭ノ激シイ地方ニ於キマシテハ、會議規則ニ於テ午前何時開會午後何時閉會ト云フ時間ノ規定ガゴザイマスルノヲ、其時間ヲ無視シテ其時間外ニ於テ反對黨ノ氣付カナイ時期ニ選擧ヲスルヤウナ事ガ往々ゴザイマス、是ハ實例ニ徵スレバ枚クナイコトデゴザイマス、此場合ニ於テ此選擧ト云フモノハ有效デアルカ、無效デアルカト云フノ議論ガ起リマス、此場合ニ如何ニ之ヲ處理スルカト云フコトニ付テハ、今日迄非常ニ困難ヲシテ居ッタ事實ノアルコトハ、國光君モ御承知ノ事ト存ジマスル、故ニ此ノ如キ不當ナル選擧卽チ適法ナラザルトコロノ選擧ハ、宜シク監督官廳ガ之ヲ取消シテ、更ニ適法ナル選擧ヲ命ズルト云フノガ最モ適當ナルコト、信ズルノデゴザイマス、國光君ノ御議論ハ非常ニ長ウゴザイマシタガ、私ハ此言ヲ以テ國光君ノ議論ニ酬ユルニ適當ナリト信ジテ是デ壇ヲ降リマス

○副議長（關直彥君）　最早通告モアリマセズ、論旨盡キタリト認メマスカラ採決ヲ致シマス、採決ノ方法ハ國光君ノ修正案ニ就テ先ヅ決ヲ採ラウト思ヒマス、國光君提出ノ修正案ニ御同意ノ諸君ハ起立

起立者　少數

○副議長（關直彥君）　少數デアリマス、是ハ否決サレマシタ、委員長報告通リニ御異議ガアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　御異議ガナイト認メマス、因テ委員長報告通リニ決定致シマシタ

○中村啓次郎君　三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長（關直彥君）　中村君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（關直彥君）　御異議ハナイト認メマス、依テ本案ハ委員會修正通リニ可決確定ヲ致シマシタ、日程第五、軍人恩給法中改正法律案第一讀會ヲ開キマス、提出者森茂生君

第五　軍人恩給法中改正法律案（森茂生君提出）　第一讀會

軍人恩給法中改正法律案

明治四十四年法律第五十九號附則第二項、第三項及第五項乃至第八項ヲ削リ左ノ二項ヲ加フ

明治四十四年四月一日以前現役ヲ離レ現ニ退職恩給、免除恩給、增加恩給又ハ扶助料ヲ受ケ又ハ受クヘキ權利ヲ有スル者ニ給スヘキ恩給金額ハ總テ本法ノ規定ニ依ル

陸軍武官傷痍扶助及ヒ死亡ノ者祭粢竝ニ其家族扶助概則、海軍退隱令又ハ陸軍武官恩給令ニ依リ扶助料、退隱料又ハ恩給ヲ受クル者ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法規定ノ金額ヲ給ス

附則

本法ハ大正四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

（森茂生君登壇）

○森茂生君　諸君、本員ハ多數諸君ノ御贊成ヲ得マシテ茲ニ軍人恩給法中改正法律案ヲ提出致シマシタコトデゴザイマス、此恩給法中改正法律案ハ、其理由トスルトコロハ之ニ認メ置キマシテ、諸君ノ御手許ニ既ニ配付セラレテアルコトデアリマスカラ、聊カ其理由ノ足ラザルトコロヲ茲ニ補ハウト思フノデゴザイマス、此軍人恩給法ノ改正ノ必要ハ、茲ニ本員ガ辯論ヲ要スルマデモナク業ニ已ニ諸君御承知ノコトデアリマシテ、年々歲々請願ヲシテ現レツヽ居ルノデアリマシテ、本年ノ如キモ各派議員諸君ノ紹介ヲ以テ數十件請願ガ提出ニナッテ居ルノデアリマス、其理由ト致シマストコロハ、明治四十四年ニ恩給法ノ改正ヲセラレタコトデアリマス、其當時ニ改正以前ニアルトコロノ軍人ハ、甚ダ寡少ナル恩給ヲ受ケテ居ルノデアリマシテ、四十四年以後ノ退職者ニ對シテハ其恩給額ガ頗ル宜クナッテ居ルノデアリマス、同ジ帝國ニ於テ軍人ヲ勸メテサウシテ退職致シタトコロノ者、ソレガ一ハ厚ク一ハ薄シト云フヤウナ恩給ヲ給スルト云フコトハ甚ダ國家ノタメニ宜シクナイト思フノデアリマス、此退職恩給免除恩給ヲ受ケテ居ル者ハ、其前ト後トノ違ハ大差ガアルノデアリマス、是ハ決シテ退職ニナッタ人ニ對シテ區別スル必要ハナイト思フノデアリマス、又扶助料ノ如キハ長ク國家ニ對スル功勞ガ全ク甲モ乙モ同一ノモノデアルノデアリマス、其同一ノモノ、遺族卽チ軍人タルモノヽ父或ハ夫タルモノガ亡クナリマシタ時ガ、明治四十四年ノ三月三十日ニ亡クナッタ者ト、四月一日ニ亡クナッタ者ト、一日ノ違ヲ以テ此扶助料ニ大差ガアルノデアリマス、是ハ吾ミノ最モ遺憾トスルトコロデアルノデアリマス、故ニ斯ノ如ク我國ノ軍人ガ退職シテ恩給ヲ受クル者ニ其等差ノアルト云フコトヲ、甚ダ吾ミハ悲ム者デアリマス、之ヲ政府當局ニ質シマスルト、政府當局ハ唯財政ヲ奈何セント云フコトノ一點張ヲ以テ、此事柄ハ政府ニ於テハ贊成ヲ致シテ居リマスガ、財源ノ爲ニ已ムヲ得ヌト云フヤウナ甚ダ不親切ナコトヲ言ウテ居ルノデアリマス、希クハ一國ノ軍人デアリマスカラ、同一ノ扱ニセラレタイガ爲ニ、此法案ヲ提出シタ所以デアリマス、希クハ滿場諸君ノ御贊同ヲ乞ヒタイト思フノデアリマス

○中村啓次郎君　本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長（關直彥君）　中村君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（關直彥君）　御異議ガナイト認メマシテ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決定致シマシタ、次ハ日程第六、軍人恩給法改正ニ關スル建議案、村松恆一郎君

第六　軍人恩給法改正ニ關スル建議案（村松恆一郎君外二名提出）

軍人恩給法改正ニ關スル建議案

軍人恩給法改正ニ關スル建議

軍人恩給ノ公平ヲ期スル爲明治四十四年法律第五十九號ヲ改正シ同法施行以前退職恩給、免除恩給、給助金又ハ扶助料ヲ受ケツヽアル者ヲシテ總テ同法ノ恩惠ニ浴セシムル必要アリト認ムル依リテ政府ハ速ニ之カ改正法案ヲ提出セムコトヲ望ム

右建議ス

（村松恆一郎君登壇）

○村松恆一郎君　諸君、本員ハ唯今議題ニナリマシタ卽チ本月七日付ヲ以テ本員等ヨリ提出致シマシタル軍人恩給法改正ニ關スル建議案ヲ撤回致シタイト思フノデアリ

マス、其理由ハ外デモアリマセヌガ、最初本員等ガ此建議案ヲ提出致シマシタ趣意ハ、元來此軍人恩給法、現在行ハレテ居ルトコロノモノ、不公平デアルコトハ、唯今森君ノ御說ノ通リデアリマシテ、斯樣ナル事ハ議員ノ提案ヲ俟タズシテ、今日ヲ俟ツマデモナク政府ガ提出スベキモノデアルト吾ミハ考ヘテ居ッタ、現ニ此明治四十四年ニ唯今ノ此改正案ガ出マシタ時分ニ、政府ハ必ズシモ反對ヲシテ居ナカッタ、所謂財源ナキガ爲ニ之ヲ實行スルコトガ出來ヌト言ッテ居ッタノデアリマスガ、最近種々ノ財源ガ有ルノデアリマスカラ、無論政府ガ提出スルモノト吾ミハ考ヘテ居ッタノデアリマス、又事實ニ於キマシテ此政府ハ此請願ノ結果ニ見マシテモ、改正法律案ヲ出スコトデアラウト信ジテ居リマシタガ、是マデノヲ出サナイ、此ニ於テ政府ニ對シ注意ヲ促スノ趣意ヲ以テ建議案ヲ提出致シマシタノデアリマシタガ、本員等ガ此建議案ヲ提出シマシタ後ニ於キマシテ、即チ本月ノ十二日附ヲ以テ、政友會ノ森君ヨリ此改正案ガ提出ニナリマシテ、其趣意ハ本員等ノ希望スル所ト同一ナノデアリマシテ、殊ニ此多數黨タル政府黨タル森君ヨリ、多數ノ贊成ヲ得テ此案ヲ而モ法律案トシテ御出シニナッタ以上ハ、必ズ是ハ多數ヲ以テ此議場ヲ通過スルコト、思ヒマスルノデ、然ラバ玆ニ吾ミハ最早建議案ヲ提出スル必要ハナイノデアリマスカラ、之ヲ撤回致シタイト云フノデアリマス、同時ニ此森君ノ法律案ニ贊成ノ意ヲ表シテ置ク次第デアリマスガ、尙附加ヘテ政友會ノ幹部諸君ニ一言希望ヲ述ベテ置キマス、衆議院ハ多數ヲ以テ通過致シマシテモ、會期切迫ノ今日デアリマスカラ、或ハ貴族院ニ於テ未決ノ儘ニ終ルト云フコトガアッテハナラナイノデアリマスカラ、此點ハ政府ヲ十分ニ御督勵下サイマシテ、兩院ヲ通過シテ完全ナル法律ト相成ルヤウニ御力ヲ盡サレンコトヲ希望致シマス、尙併セテ一言致シテ置キマスルガ、政友會ノ諸君ガ本員ノ提出シタル建議案ノ趣意ヲ贊成シテ、サウシテ此法律案ヲ御出シ下サイマシタコトハ、深ク感謝ヲ致シマスル次第デゴザイマス、同時ニ將來ニ於キマシテモ、吾ミノ意見ハ常ニ速ニ御容レニナルコト斯ノ如クナランコトヲ特ニ希望致シテ置キマス

○副議長（關直彥君）　提出者ヨリ撤回ノ申出ガアリマシタ、承認シテ差支アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（關直彥君）　撤回ヲ承認シタコトニナリマシタ

議事進行ニ關スル緊急動議

○中村啓次郎君　緊急動議ヲ提出致シマス、會期切迫ニ付キ日程第七ヨリ第九、第十二ヨリ第十八ニ至ル建議案ハ提出者ノ說明ヲ省略シテ直チニ委員ニ付託スベキモノト、即チ日程第七第十二ノ二案ヲ一括シテ開拓促進竝ニ農牧奬勵ニ關スル建議案ノ委員ニ付託ス、日程第八第十八ノ各案ハ各〻九名ノ議長指名ノ委員ニ付託ス、日程第九ハ東北六縣田畑地價特別修正法律案外二件ノ委員ニ付託ス、日程第十四第十五ノ二案ヲ一括シテ治水事業費增加及其竣功期限短縮ニ關スル建議案外三件ノ委員ニ付託ス、日程第十三第十六及第十七ノ二案ヲ一括シテ九名ノ議長指名ノ委員ニ付託ス、右ノ通リデアリマス

（「贊成々々」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　中村君ノ緊急動議ニ御異議ガアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

第七　農業會議所設置ニ關スル建議案（武藤金吉君提出）

農業會議所設置ニ關スル建議案

我カ邦ニ於テハ夙ニ商業會議所法ヲ設ケ商工業ニ關スル諸般ノ發達ヲ圖ルノ機關ヲ具備スルモ農業ニ關シテハ何等ノ機關ナク單ニ地方ニ於ケル農會ノ組織アルノミ然モ農會ナルモノハ規模狹小ニシテ現時農業ノ進步發達ヲ企圖スルニ足ラス先進國タル獨乙ニ於テハ農業會議所ヲ設ケ農業一般ノ施設諸方案ノ調查、諮問、議定等悉ク此ノ機關ニ依ラサルハナシ政府ハ宜シク農業ニ對シテモ商工業ニ對スル商業會議所ノ如ク速ニ農業會議所ヲ設置シ以テ時運ノ進步ニ適應セムコトヲ望ム

右建議ス

第八　鐵道建設ニ關スル建議案（中倉万次郎君外七名提出）

鐵道建設ニ關スル建議案

鐵道建設ニ關スル建議

一熊本縣下八代ヨリ分岐シ水俣ヲ經テ鹿兒島縣下川内ニ至ル鐵道

一宮崎縣下宮崎ヨリ延岡ヲ經テ大分縣下佐伯町ニ至ル鐵道

一大分縣下犬飼ヨリ熊本縣下宮地ニ至ル鐵道

一福岡縣下吉塚ヨリ分岐シ佐賀縣下唐津伊万里長崎縣下田平ヲ經テ佐世保ニ接續スル鐵道

一福岡縣下久留米ヨリ日田玖珠ヲ經テ大分縣下大分ニ至ル鐵道

右鐵道ハ產業ノ發展ニ資シ交通ノ不備ヲ補フカ爲急設ヲ要スルモノト認ムルヲ以テ政府ハ速ニ調查ヲ遂ケ相當ノ措置ヲ採リ建設ニ着手アラムコトヲ望ム

右建議ス

第九　東北六縣田畑公定地價特別修正輕減ニ關スル建議案（日下義雄君外十五名提出）

東北六縣田畑公定地價特別修正輕減ニ關スル建議案

東北六縣田畑公定地價特別修正輕減ニ關スル建議

福島、宮城、巖手、青森、秋田、山形六縣農業ノ衰頽ハ其ノ原因多々ナリト雖田畑ノ公定地價甚タ高キカ爲其ノ收穫ニ對シ地租其ノ他ノ公課過重ナルハ確カニ其ノ一大原因ナリト認ムル蓋東北地方ハ改租ノ際種々ノ事情ニヨリテ公定地價ヲ過當ニ査定セラレタルカ爲ニシテ而シテ關西九州ハ勿論關東北陸北海道等ニ比スルモ頗ル高位ニアリ加之近年太平洋沿岸ノ潮流ニ變動アリテ氣溫早冷トナリ爲ニ農作物ハ其ノ害ヲ被ルコト頻々タルヲ以テ東北農業者ノ負擔甚タ多キニ失スルコトハ近時世ノ汎ク認ムル所ナリ故ニ政府ハ東北地方田畑公定地價ヲ大ニ修正輕減スルノ目的ヲ以テ速ニ之カ調查ヲ遂ケ適當ノ法案ヲ議會ニ提出セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第十二　北海道拓殖促進ニ關スル建議案（東武君外八名提出）

北海道拓殖促進ニ關スル建議案

北海道拓殖促進ニ關スル建議

北海道ノ拓殖ヲ速成シテ國富ノ增加ヲ圖ルハ啻ニ明治維新ノ皇謨ヲ奉體スル所以ノ途タルノミナラス帝國ノ財政經濟ヲ振興スルカ爲ニ洵ニ最先ノ急務タルヲ以テ當院

ハ曩ニ之ニ關シ政府ニ建議スル所アリ然ルニ爾來政府ノ施爲ヲ見ルニ猶未タ時勢ノ要求ニ副ハサルモノアリ本院ノ深ク遺憾トスル所ナリ依テ政府ハ速ニ左記各項ノ目的ヲ貫徹セシムヘキ適當ノ手段ヲ執ラレムコトヲ望ム

一　北海道拓殖計畫ヲ改訂シ大正四年度ヨリ十箇年ヲ期シテ之ヲ完成スルニ足ルヘキ繼續費額ノ支出ヲ確定スルコト

二　北海道鐵道網ヲ作爲シ前項拓殖計畫ト平衡調節ヲ圖リ各線敷設ノ年期ヲ決定スルコト

三　政府保護ノ下ニ北海道拓殖會社ヲ創設シ土地ノ開發整理改良竝殖民ノ增加中小農ノ扶殖ヲ圖ルコト

右建議ス

第十三　三國港護岸施工ニ關スル建議案（熊谷五右衞門君外二名提出）

三國港護岸施工ニ關スル建議案

三國港護岸施工ニ關スル建議

三國港ハ曩ニ國庫改修セル九頭龍川ノ河口ニシテ該川改修事業ノ奏功セルヤ一市三郡沿川地方ハ積年ノ水害ヲ一朝ニ免カレ多大ノ功益ヲ收メタリト雖同改修事業ハ三國港港口ノ事業ヲ貽シタルヲ以テ同港ニ瀕シテ聚落ヲ成セル三國町街ハ年次出水毎ニ漲溢ノ害ヲ被ムリ且港內堆砂ノ爲港床ヲ高メ船舶出入ノ便ヲ妨クヘキ傾向アルニ依リ政府ハ今ニシテ之カ適當ナル護岸工事ノ設計ヲ立テ窮狀ヲ救濟サレムコトヲ望ム

右建議ス

第十四　阿賀野川及小阿賀野川改修工事速成ニ關スル建議案（加藤勝彌君外四名提出）

阿賀野川及小阿賀野川改修工事速成ニ關スル建議案

阿賀野川及小阿賀野川改修工事速成ニ關スル建議

阿賀野川及小阿賀野川改修工事ノ施行ハ目下ノ急要タリ政府財政上支障アル場合ハ地方ノ請願ヲ採用シ工費年度割地方分擔額ヲ當初ノ數年間ニ繰上ケ納付セシメ大正四年度ヨリ起工セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第十五　千曲川治水計畫ニ關スル建議案（小坂順造君外一名提出）

千曲川治水計畫ニ關スル建議案

千曲川治水計畫ニ關スル建議

千曲川、犀川竝其ノ合流シタル千曲川沿岸ハ年々水害ヲ被ルコト多ク其ノ區域ノ大ト損害ノ多キ到底地方的計畫ヲ以テ之ヲ救濟スルコト難シ政府ハ宜シク國費ヲ以テ治水ノ根本計畫ヲ定メ之カ實行ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第十六　直江津開港ニ關スル建議案（丸山豐治郎君外三名提出）

直江津開港ニ關スル建議案

直江津開港ニ關スル建議

直江津ハ裏日本海ノ要港ニシテ陸上ハ鐵道ノ最利便ナルモノアリ若一タヒ開港トナルニ至ラハ信越甲毛各地ノ物產ニシテ此ノ港ヨリ海外ニ輸出セラルルモノ甚少ナカラサルヘシ海外ヨリ輸入セラルルモノハ之ヲ統計ニ徵スルニ其ノ額ノ大ナル實ニ左ノ如キモノアリ

直江津港外國品輸入統計表（重ナルモノ）（最近七箇年）

種別	品名	外國米	大豆	鹽	鱒	鹽鮭	大豆粕	石炭	計
明治三十九年	數量	四〇、七一八袋	一八、三三九石	一八、四一六捆	一一、九七四捆	二六〇、二二八箇			三四九、六七五
	價格	三八六、八三〇圓	一六一、二八三圓	七三、六六四圓	七九、〇二八圓	四三二、三六五圓			一、一三三、一七〇
同四十年	數量	七三、七二七	二二、七一九	一二、七〇八	三五、一九〇	一五六、二五五			三〇〇、六〇九
	價格	七三三、九五二	一九五、三七九	六三、五四〇	一四〇、七八六	二四二、一七五			一、三七五、八三二
同四十一年	數量	三〇、六一一	二二、七七五	二七、八四八	一五、五八六	三二七、〇〇〇			四二三、八二〇
	價格	二六一、一一二	一四五、七六七	二五、七一八	二六、八九四	四五七、八〇〇			九一七、二九一
同四十二年	數量	七、三〇〇	二二、七四七	一九、四七一	一三、七一九	二二六、〇〇〇			二九九、二三七
	價格	五四、二三九	一七二、八八〇	九四、四四四	七九、三〇四	二五四、三二〇			六五五、一八七
同四十三年	數量	八、〇〇〇	一一、八四五	三四、五〇九	三〇、七七五	一六六、〇〇〇			二五一、一二九
	價格	六四、一〇〇	一一五、三〇四	一七四、五〇四	一五九、八一六	二三二、四〇〇			七四六、一二四
同四十四年	數量	一五、四九二	三一、四五六	二八、六九〇	一九、二〇六	一四二、〇〇〇			二三六、八四四
	價格	一二七、八七五	三〇八、二六八	一七〇、九四九	一五二、二四五	二〇〇、一六〇			九五九、四九七
大正元年	數量	一二、一〇〇	三五、二七七	二二、六八七	一六、九二二	八〇、〇〇〇	六、四二〇噸		一七三、四〇六
	價格	一四三、九四六	三六七、六六四	一二三、四三〇	一三四、二二四	一二四、八〇〇	六〇、三四八圓		九五四、四一二
產地		支那	支那又ハ北海道	ニコライスク露領沿海洲カムサツカ	同上	支那	支那		
經過シタル稅關		新潟	門司	小樽、函館、新潟	同上	宮津、門司、新潟	新潟		

此ニ依テ之ヲ見ルニ直江津ハ露清兩地トノ貿易ニ關シテハ既ニ開港場タル濱田、境、宮津、七尾、伏木ニ勝ルアルモ決シテ劣ラサルモノト云ハサルヘカラス是レ本院ノ嘗テ請願ヲ採擇シテ政府ニ轉送シ且建議ヲ爲シタル所以ニシテ當局ノ今尙實行セサルハ本院ノ遺憾トスル所ナリ依テ政府ハ速ニ直江津港ヲ開港セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第十七　武豐開港ノ修築ニ關スル建議案（清水市太郎君外二名提出）

武豐開港ノ修築ニ關スル建議案

武豐開港ノ修築ニ關スル建議

一愛知縣尾張國知多郡武豐港ハ東海道鐵道大府驛ヨリ分岐シ直ニ同開港ニ至ル鐵道ヲ有シ海陸ノ連絡自ラ成リ名古屋市ト直通シ大平洋沿岸ノ一良港ニシテ學術經驗アル技師ノ設計ニ依レハ約五十萬圓ヲ投シ棧橋及艀溜ヲ修築スレハ其ノ工事期年ナラスシテ竣工シ優ニ一萬噸以上ノ船舶ヲ棧橋ニ橫著ケニ碇泊スルニ足ル

一明治三十二年開港トナリテヨリ何等人工的修築ヲ爲サスト雖而モ今ヤ五百萬圓以上ノ貿易六十萬圓以上ノ關稅收入アリ

一然レハ東海道線中央線竝關西線ノ集點タル帝國中央市場名古屋市ノ關門トシテ最少ノ費額ヲ投シ最短期ニ於テ竣工シ而モ完全ニ之カ關門タルノ目的ヲ達スルモノハ我カ武豐開港ナリトス

因テ政府ハ帝國貿易發展上速ニ武豐開港ニ修築ヲ加ヘラレムコトヲ望ム

右建議ス

第十八　支那ニ於ケル同仁會事業ニ關スル建議案（丸尾光春君外四名提出）

支那ニ於ケル同仁會事業ニ關スル建議案

支那ニ於ケル同仁會事業ニ關スル建議

同仁會ハ十二年前ノ創立ニシテ亞細亞諸國ニ醫事衞生ノ開發ヲ目的トシ已ニ滿洲朝鮮ニ數箇ノ大病院ヲ經營シテ其ノ素志ノ一部ヲ遂ケ今ヤ將ニ支那本土ニ全力ヲ傾注シ以テ人道上國交上ニ資セムトス依リテ政府ハ相當ニ之ヲ援助セムコトヲ望ム

右建議ス

○副議長（關直彥君）　御異議ガナイト認メマス、仍テ中村君ノ讀上ゲラレマシタ通リニ決定致シマシタ——日程第十ハ提出者ヨリ延期ノ申出ニナリマシタカラ延期シテ御異議ガアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　御異議ガナケレバ日程第十ハ延期致シマス、日程第十一、對支「シンヂケート」設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——小山谷藏君

第十一　對支「シンヂケート」設置ニ關スル建議案（小山谷藏君提出）

對支「シンヂケート」設置ニ關スル建議案

對支「シンヂケート」設置ニ關スル建議

現時列强ノ對支外交ハ利權獲得ノ競爭ニシテ其ノ結果支那ノ經濟的分割ノ端既ニ成レリト云フヘシ此ノ形勢ニ對シ我カ國ノ外交ヲシテ列强ノ背後ニ落チサラシメムトセハ鞏固ナル資本的勢力ノ後援ヲ要ス然ルニ我カ國財界ノ現狀ハ特ニ此ノ目的ニ適合セル相當ノ機關ヲ設クルニ非サレハ充分ナル活動ヲ爲ス能ハサルヲ認ム

右建議ス

○中村啓次郎君　本案ハ提出者ガ席ニ居ナイ程不親切ナ案デモアリマスルシ、且ツ案ノ內容ヲ見マスト對支「シンヂケート」設置ニ關スル建議案ト云フノデアリマス「シンヂケート」ノ如キハ民間ニ於テ行フベキモノデアッテ、之ヲ政府ニ建議スルコトハ殆ド意味ヲ爲サナイ建議案ノヤウニ思ヒマスカラ、否決セラレンコトヲ望ミマス

（「贊成々々」ノ聲起ル）

○野村嘉六君　提出者ガ缺席致シテ居リマスカラ提出者ノ出席スルマデ延期ノ動議ヲ提出致シマス

（「延期ノ必要ナシ」「贊成」ト呼フ者アリ）

○副議長（關直彥君）　採決致シマス

○野村嘉六君　兎モ角モ議會ニ議案ヲ提出致シマシタ以上ハ、其提出者ノ意見ヲ聞クノハ私ハ是ハ議會トシテ當然デアラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラ此次ニ出席致シマスマデノ延期スル意見ヲ提出致シマス

（「反對々々」「贊成々々」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　議案ヲ提出シタル以上ハ其責任者ハ缺席ヲセザルコトヲ望ミマスガ、本日ハ缺席ニナッテ居ルヤウデアリマス、而シテ延期スルト云フ說ガ出マシタカラ、野村君ノ延期說ニ付テ採決致シマス、延期スルト云フニ同意ノ諸君ハ起立

起立者　少數

○副議長（關直彥君）　少數デアリマス——本建議案贊成ノ方ハ起立

起立者

○副議長（關直彥君）　起立ガアリマセヌ、否決ニナリマシタ——六時ニ間近クナリマシタカラ暫時時間ヲ延長致シマス、次ハ日程第十九、災害地義務敎育費國庫補助ニ關スル建議案、委員長報告根本正君

第十九　災害地義務敎育費國庫補助ニ關スル建議案（關直彥君外五名提出）

（委員長報告）

（野村嘉六君「政友會デモヤハリ居ラヌデハナイカ」ト呼フ）

○副議長（關直彥君）　理事工藤吉次君

（「報告シ給ヘ」ト呼フ者アリ）

（野村嘉六君「今否決シテ置イテ自分ノ時ニナルトドウダ」ト呼フ）

○工藤吉次君　此席カラ簡單デスカラ報告致シマス、委員會ニ於キマシテハ滿場一致ヲ以テ可決致シタノデアリマス、此段報告致シマス

○副議長（關直彥君）　工藤君ニ伺ヒマスガ、修正ガアリマスガ（笑聲起ル）報告ニアル修正ノ通リニ決議ニナッタノデアリマスカ

○工藤吉次君　左樣デゴザイマス、其報告案通リニ全會一致デ可決ニナッタノデアリマス

○副議長（關直彥君）　諸君ノ御手許ニアリマス修正ノ通リニ委員會ハ修正可決シタト云フ報告デアリマス、別ニ通告モアリマセヌ、御異議ガナケレバ委員長ノ報告通リ……

○中村啓次郎君　可決セラレンコトヲ望ミマス

（笑聲起ル）

○副議長（關直彥君）　委員長報告通リ決定致シマシタ、次ハ日程第二十蠶業講習所ヲ高等專門學校ニ改ムルノ建議案ヲ議題ト致シマス——委員長武藤金吉君

第二十　蠶業講習所ヲ高等專門學校ニ改ムルノ建議案（委員長報告）

○武藤金吉君　當席カラ報告スルコトヲ許サレンコトヲ望ミマス（「宜シウゴザイス」「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ）本案ハ既ニ豫算ニ計上サレテ蠶業講習所ハ高等專門學校ニ引直スコトニナッテ居ルノデアリマス、而シテ委員會ニ於キマシテハ、折角ノ御提案デモアリ、豫算ニ出テ居リマスルガ、斯ノ如キ學校ハ必要ガ無イカラ次年度ニ於テハ廢スベシト云フ意味ニ於テ本案ハ否決ヲ致シマシタ、右御報告ニ及ビマス

○副議長（關直彥君）　別ニ通告モナイヤウデアリマスガ、採決ヲ致シマス、委員長報告ニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル）

○副議長（關直彥君）　御異議ナイト認メマス、本建議案ハ否決サレマシタ、是ニテ本日ハ散會致シマス

午後五時五十八分散會